

平成21年度

地域子育て支援拠点 実践事例集

～地域で楽しい子育て！子育て応援隊！！～



地域子育て支援拠点実践事例集編集委員会
大分県福祉保健部少子化対策課



はじめに

核家族化や地域のつながりが希薄化する中、家庭や地域の中で子育ての知恵や経験を共有することが難しくなっています。

身近に頼る人がいないために 1人で悩んだり、孤独感を感じながら子育てをしている方も少なくありません。このような中、就労の有無に関わらず、子育てをする方々が、“地域が見守り支えてくれる”と実感してもらえるような支援が必要とされています。

そこで、大分県では、地域において子育て親子が気軽に集い、交流や相談などができる地域子育て支援拠点の設置を積極的に促進するとともに、支援の質を高める取組も重要であることから、平成20年度から拠点のスタッフで組織した「地域子育て支援拠点ネットワーク実行委員会」を設置し、この実行委員で拠点の課題等を検討し、その課題等を解決するための研修会の企画を行ってきました。

今年度はこれに加え、「地域子育て支援拠点実践事例集編集委員会」を立上げ、実践事例集の編集にも取り組みました。

本事例集は、この編集委員会が、地域子育て支援拠点間の情報共有とスキルアップを目的として作成したものであり、少しでも皆様の活動に役立てていただければ幸いです。

事例集目次

市町村	P.	地域子育て支援拠点 名称	保育所等指定施設
大分市	1	大分市地域子育て支援センター	新春日町保育所
		大分市地域子育て支援センターすくすく	下郡保育所
	2	大分市府内こどもルーム	府内こどもルーム
別府市	3	別府市南部子育て支援センターわらべ	別府市南部児童館
	4	別府市北部子育て支援センターどれみ	内龜保育所
	5	別府市西部子育て支援センターべるね	別府市西部児童館
	6	すくすくルーム ふたば	矢田こどもクリニック
	7	別府市子育て支援センター風のまち	ナーサリーみにふう保育園
臼杵市		すみれ児童館	すみれ児童館
	8	臼杵市子育て支援センターウスキッズ	海辺保育園
	9	子育て支援センターホワイトキャンパス童〔わらべ〕	臼杵市野津保健センター
	10	よいこのへや	臼津地域シルバー人材センター
中津市	11	中津市地域子育て支援センターなずな	如水保育園
	12	中津市地域子育て支援センター木もれび	井上小児科医院
	13	「どうしん」つどいの広場	童心児童館
竹田市	14	桜っ子広場	中津市教育福祉センター
		竹田っ子すこやか広場	南部幼稚園併設南部こじかクラブ内
日田市	15	日田市丸の内保育園子育て支援センター（フレンズ）	丸の内保育園
	16	日田市ひのくま子育て支援センター	日隈保育園
佐伯市	17	日田市チャイルドプラザ	商店街空き店舗
		蒲江ふれあい広場	佐伯市蒲江ふれあい児童館
	18	佐伯市弥生地域子育て支援センター	佐伯市弥生地域子育て支援センター
	19	佐伯市上浦育児支援サービス「さくらんぼルーム」	佐伯市上浦ふれあいプラザ
	20	子育て支援ひろば おひさま	大日保育園
姫島村	21	みなと保育園子育てひろば いるか	みなと保育園
		姫島村子育て支援センター たんぼぼ	姫島村保育所
津久見市	22	子育て支援センター「キッズハウス・ワイワイ」	白梅保育園
豊後高田市	23	豊後高田市つどいの広場 花っこルーム	健康交流センター花いろ
杵築市	24	杵築市子育て支援センター cha♥cha	中央保育園
	25	杵築市子育て支援センターどんぐり	浄願寺保育園
宇佐市	26	宇佐市子育て支援センターちびっこステーション	正光保育園
		宇佐市北部子育て支援拠点「めずらっ子クラブ」	芽豆羅保育園
	27	親子ひろば 子うさ木	宇佐保育園
豊後大野市	28	緒方子育て支援センターつどいの広場「ちゅうりっぷ」	緒方保育園
	29	豊後大野市犬飼子育て支援センター ゆうゆうキッズ	犬飼保育園
	30	みえまち子育て支援センター やしの実ひろば	すがお保育園
	31	おおの子育て支援センター子育て広場“ルンるん”	大野ルンビニー保育園
	32	清川子育て支援センター つくしんぼ	清川保健センター
由布市		由布市庄内子育て支援センター	ひばり保育園
	33	由布市ゆふいん子育て支援センター	すみれ保育園
		由布市挾間子育て支援センター	宮田保育園
国東市	34	国東町地域子育て支援センター “さくらんぼ”	国東町南部保育園
玖珠町		玖珠町くるみ保育園地域子育てセンターいちごのきもち	くるみ保育園
日出町	35	日出町地域子育て支援センター あすなろランド	大神保育園
	36	日出町児童館	日出町児童館



大分市新春日町保育所地域子育て支援センター



運営：大分市
住所：〒870-0818
大分県大分市新春日町1丁目2-8
TEL：097-544-1500 FAX：097-543-4629
開設年月日：2001年4月1日
スタッフ：保育士2名（正規職員1名・嘱託職員1名）

活動名	開催日時	内容
電話相談	月～金 8:30～17:00	子育てに関する電話相談
面接相談	月～金 10:00～15:00	子育てに関する面接相談
保育所見学	月～金 10:00～15:00	保育所施設の見学・入所に関する情報など
サークル育成	年間14～15回 9:30～11:30	0歳（妊婦を含む）～就学前児童及び保護者対象 ・保育所施設の見学・入所に関する情報など ・親子で遊びながら、子育てに関する情報交換をする。 リズム遊び・絵本の読み聞かせ 身近な物を使って遊ぶ・素材遊び ・親同士で、相談しながら行事を計画する。 運動会・遠足・クリスマス会 ・子育て教室への参加
地域サークル支援	要請日	おもちゃの貸し出し 遊びの内容相談 ・地域サークルに出かけての支援 ・子育て教室への参加呼びかけ
子育て教室	年12回程度	0歳（妊婦を含む）～就学前児童及び保護者対象 ・専門家、有識者による講演、講話
地域交流	行事日	敬老会・地域住民との交流 夕涼み会、運動会など保育所行事での交流 敬老会と芋汁会、お楽しみ会などで交流
ボランティアとの協力・育成		・大分市ボランティア協会と連携をとり、支援センターの目的、内容を理解してもらい、つながりを深める。
他機関との連携		・児童家庭相談センター、児童民生・民生委員、ファミサポ、社協と連携をとる。 (NPお母さんひろば・養育支援訪問事業)

★課題・展望

現在、地域や公民館でサロン・広場などの様々な支援活動が行われている中、新春日町保育所から地域サークルが巣立っていきけるよう、サークル育成の取り組みを考えていきたいと思います。自分たちで、サークル活動をしていこうとする親たちの不安(活動内容、場所の確保など)と一緒に解決できるよう、相談を受け、支援をしていこうにしたいと思います。育児不安を抱えている親や、支援活動の薄い地域に対し児童民生委員や、保健所、児童家庭相談センターと連携をとりながら支援していきたいと思えます。

★最も力を入れている事

子育て支援センターでのサークル活動は、サークル育成を目的として、年間14回、月に1～2回程度で行っています。1グループ20世帯で構成し、子どもの年齢にあわせてグループ分けをしています。そのため子育ての情報や悩みなど共通するところが多く、母親同士の話も弾みサークル活動も回を重ねることに、充実しています。年間を通じて、保育士による手遊び、絵本の読み聞かせ、親子のふれあい遊び等の他、季節に応じて水遊びや身体を使った遊び等、親子で楽しく遊べる計画を立てています。計画する上では、保育士だけで活動を進めるのではなく、母親が主体的にサークル活動に参加できるように常に心がけています。特に運動会、遠足、クリスマス会は、親同士で相談し、計画を立てたり準備したりする事で、より交流が深まっていくのを感じます。保育所が併設しているので、保育所の園庭で、遊ぶ機会を多く作るようにしています。

特に当園は広い園庭に、築山があり、斜面を登ったり滑ったりしてダイナミックに遊べる環境であるため、親子がより触れ合いながら遊んでいます。その中で保育所の子どもの様子を見たり、生活の仕方を見学し同年齢の子どもの姿を見ながら、具体的な援助の仕方を知らせたり、相談を受けたりしています。また電話相談を、内容によっては面接相談に切り替えて、センターに来所してもらえうケースや、サークル支援の中で個別の対応が必要なケースも増えていっていますので、今後も他機関との連携をとりながら、きめ細やかな子育て支援を行っていききたいと思います。

★利用者の声

- ・子育てに疲れ、外に出かけたくないと思っても、サークルには同じ思いの仲間がいて、悩みを相談できるから、行こうという気持ちになる。「自分だけじゃない」と勇気付けられます。
- ・同年齢の保育所の子どもの姿を見ることが、自分の子どもを客観的に見ることができた。小さな集団のなかで、いろいろなことを経験でき、親子で楽しむことができました。



すくすく大分市下郡地域子育て支援センター



活動	内容
電話相談	開設時間 月～金 (8:30～17:00)
面接相談	開設時間 月～金 (10:00～15:00)
保育所見学	開設時間 月～金 (10:00～15:00)
サークル育成	実施方法 5月～3月(受付4月)1グループにつき月1～2回 9:30～11:30(親子ふれあい遊び等) 利用者 0才(妊婦を含む)～就学前児および保護者
地域サークル支援	玩具の貸し出し、遊びの紹介、講話等
子育て教室	実施日 6月～11月(年12回程度) 専門家・有識者による0才～就学前児および保護者への教室
地域交流	夕涼み会・芋汁会・もちつき等の保育所行事での交流参加者 老人会・地域住民
他機関との連携	児童家庭相談センター、児童民生・民生委員、ファミサポ、社協・NPお母さんひろば、養育支援訪問事業等
ボランティアとの協力・育成	大分市ボランティアセンターや保育経験者と連携をとりながら、支援センター事業の内容を理解してもらい、つながりを深める。

運営：大分市
住所：大分市下郡北2丁目2番17号
TEL：097-568-4500 下郡保育所併設
FAX：097-567-0788
開設年月日：1996年4月1日
スタッフ：保育士 2名（正規1名・嘱託1名）

★課題・展望

- ・サークル育成に参加する親同士が、安心して出会いつながりを深め、育児を楽しんだり、自信を持ったりして、自分たちでサークル活動をしてみようという主体的な気持ちをもっと引き出していきたいと思います。
- ・自主的にサークルとして活動するとなると、活動する場所がなかなか見つからず、公園などの戸外や有料の場所を利用しているので、利用できる所が増えるとより活動しやすいのではないかと思います。
- ・ひとりで育児不安をかかえている保護者に対して、保健所や児童家庭相談センターと連携をとりながら、支援していきたくと考えています。

★利用者の声

「サークルに参加するようになり、子どもがあいさつや自分の名前が言えるようになり、みんなで身体を動かす楽しさもわかってきました。」
「同じ年頃の子どもを持つお母さんと話せて、子どもと一緒に楽しい時間を過ごせました。」

★最も力を入れている事

自主サークルの育成を目的とし、年間を通じて同じメンバーで遊びの会を持ちながら、サークル作りを行っています。毎年100名近くの申し込みがあり、1グループ20世帯とし、かわりやすいよう、子どもさんの年齢や兄弟での参加等で構成しています。手遊び、親子ふれあい遊びをしたり、パネルシアター、エプロンシアター、人形劇を保育士と保護者がしたり、運動会、遠足など全員での戸外活動も取り入れています。行事については、保護者有志と計画を立てたり、準備したりする中で積極的に活動に参加することで親同士の交流を深め、サークル作りにも発展できるように工夫しています。また、保育所併設のメリットを生かし、同年齢児や就学前児が園庭で遊ぶ姿を見たり、一緒に遊ぶ機会を持ったり、生活している様子(食事等)を見学したりしています。見学や遊ぶ体験は、好評で同年齢の子どもの姿に刺激を受けたり、安心したり、育児のヒントにつなげたりしています。特に0才児の離乳食メニューや食べている様子は、関心が深いので保健師からの説明をくわえたり、相談を受けたりしています。

自治会、老人会をはじめとする地域の方や地域サークルとのつながりを年間通じて持ち、収穫物での団子汁作りやもちつきなどの行事も楽しんでいます。そのつながりの中で、新しく自主サークルを作るだけでなく、下郡地域子育て支援センターから巣立った現在活動中のサークルを紹介することで、サークルの活性化への支援にも取り組んでいます。





気軽に集い、和やかな交流ができる街中の子育てオアシス 大分市府内こどもルーム



運営：大分市
住所：〒870-0046 大分市荷揚町3番41号
TEL：097-532-7918 FAX：097-536-1850
E-mail：kosodatesien@city.oita.oita.jp（子育て支援課）
URL：http://www.city.oita.oita.jp/（大分市役所HP）
開設年月日：1998年5月11日
スタッフ：常勤1名（保育士）
非常勤2名（保育士1名・教員OB1名）

★その他 市内7つのこどもルーム

- 大分南部こどもルーム TEL：097-567-4145
〒870-0946 大分市大字曲1113番地
- 明治明野こどもルーム TEL：097-552-1038
〒870-0165 大分市明野北4丁目7番8号
- 原新町こどもルーム TEL：097-551-2611
〒870-0912 大分市原新町1番31号
- 鶴崎こどもルーム TEL：097-527-2158
〒870-0103 大分市東鶴崎1丁目2番3号
- 植田こどもルーム TEL：097-541-1291
〒870-1155 大分市大字玉沢743番地の2
- 坂ノ市こどもルーム TEL：097-593-1751
〒870-0308 大分市坂ノ市南3丁目5番33号
- 佐賀関こどもルーム TEL：097-575-1140
〒879-2201 大分市大字佐賀関1407番地の27

活動	開催日	内容
指導員による活動	音楽遊び	月1回・30分 楽器等を使った音楽遊び
	体育遊び	月1回・30分 マット、跳び箱、平均台、フラフープ等を使った種々の運動
	誕生会	月1回・30分 お祝いの歌、インタビュー、紙芝居や読み聞かせ等
作って遊ぶ	月1～3回、30分程度	こいのぼり、かえる、はり絵、風船飛行機、七夕かざり、みの虫、パクパクおもちゃ、ペットボトル飛行機、運動会の旗、たこ、松ぼっくりのけん玉、クリスマスツリー、鬼の面、ひな人形等
	ボランティアによる活動	読み聞かせ
リトミック		月2回・30分 音楽にあわせた身体表現活動
英語活動		月2回・30分 音楽などによる英語遊び
ヒッポファミリー		月2回・30分 他国語に親しむ遊び、ゲーム遊び
こども劇場		月1回・30分 お話、人形劇、作って遊ぶ
リズムダンス		月4回・30分 音楽にあわせた親子ダンス
絵画製作		月1回・30分 発達段階にあわせた絵画指導、工作
人形ボードビル		月1回・30分 音楽にあわせた人形のパフォーマンス
ベビーマッサージ		月1回・30分 母親が乳児に行うオイルマッサージ
もちつき		年1回・2時間 市内8ヶ所のこどもルームと合同で実施
季節行事活動	子どもの日お楽しみ会	5月・30分 エプロンシアター、読み聞かせ、劇等
	七夕お楽しみ会	7月・30分 歌、ハンドベル、パネルシアター、ママの出し物等
	ちびっこ運動会	10月・30分 玉入れ、綱引き、よーいドン（ハイハイ、ヨチヨチ、かけっこ）等
	クリスマスお楽しみ会	12月・30分 ハンドベル、ダンス、歌と踊り、読み聞かせ等
	節分お楽しみ会	2月・30分 節分の話、歌、豆まき、マジック等
	ひな祭りお楽しみ会	3月・30分 おひなさま作り、歌、ママの出し物、紙芝居等
子育て相談活動		母親からの申し出や雑談の中で



★最も力を入れている事

大分市の中心部に位置し、緑に囲まれた旧幼稚園の園庭を生かした運動広場と広い砂場を備えた府内こどもルームは、室内だけでなく戸外でも多様な遊びができるなど、非常に恵まれた環境に立地しています。加えて、四季それぞれの花を育てたり、きゅうりやスイカなどで緑のカーテンを作るなど、季節感あふれる園庭を目指しています。

本ルームでは、子育て中の親子が気軽に集い、明るく和やかな雰囲気の中で親子、親と親、子と子が自然な形でふれあい、交流を深めるとともに、子育ての悩みが少しでも軽減できるよう、様々な場を設定しています。

まず、指導員による音楽・体育遊びや誕生会のほか、月に1～3回親子製作活動を実施し、子どもの興味を喚起するとともに親子のふれあいを深めています。また、本ルーム利用者の中には転勤者が多く、親子とも友達を求めている実態があることから、親と親、子と子の交流を図るため、季節にあった様々な楽しみ会を企画し、活動を通じて自然に交流できるよう配慮しています。

さらに、様々な能力を持ったボランティアによる各種の活動を通じ、多方面から子どもたちに刺激を与えるとともに豊かな情操を育成する素地作りを期待しています。

そして、母親の子育てについての悩み軽減のため、指導員が母親との人間関係を築き上げていく中で状況に応じて自然な形で相談に応じています。さらに、保育士や保健師による「お出かけ赤ちゃん子育て教室」（あらかじめ申し込みをした会員対象）を月1回実施しています。

大分市には、府内のほか大分南部、明治明野、原新町、鶴崎、植田、坂ノ市、佐賀関の8つのこどもルームがあり、府内子どもルームの活動を基本に、それぞれの施設や地域の特色を考慮した内容の取組を行っています。

★課題・展望

まず、こどもルームの存在や内容の周知が挙げられます。気軽に利用できること、様々な活動が準備され子育て中の仲間と自然にふれあい悩みを語り合えることなどルームの状況を知っていただくことです。

次に、親子だけで遊んでいる状況や他の方との交流が苦手な母親の実態が見受けられますので、母親が心を開き自然な形で交流ができるように、ルームの雰囲気や人間関係づくり、交流を促す活動の工夫が求められています。

大分市では、今後もこどもルームが新設される計画がありますが、子育て支援というルームの目的達成に向け、すべてのルームが連携を図りながら子育ての悩みに応える相談体制を整備する必要があると考えています。

★利用者の声

・こどもルームを利用させていただいてから、友だちも増え、雨の日など外で遊べない時でも安心して遊べる所なので嬉しです。先生方も優しく、子どももこどもルームが大好きです。

・いつでも好きな時に好きなだけ遊べるので、親子で楽しく利用させていただいています。季節ごとの行事や工作が楽しみです。

・子どもが安心して遊べる場所で、よく利用しています。色々なイベントも楽しく参加しています。先生方もよく声をかけてくれ、子育ての悩みなどを親身になって聞いてくれるので、心の支えになっています。



～子育て真っ最中の人も子育て応援団の人もみんなで子育て楽しんでます!!～

別府市南部子育て支援センターわらべ



運営：別府市
 住所：〒874-0938 別府市末広町1番3号
 TEL：0977-25-0120
 FAX：0977-25-0129
 URL：http://www.city.beppu.oita.jp/06sisetu/kosodate_center/warabe/index.html
 開設年月日：2003年4月6日
 スタッフ：センター長（常勤）1名・保育士（常勤）2名・保育士（非常勤）1名



活動	開催日	内容
育児サークル ・2グループ ・1年間の登録制	月1回 10:30～12:00	朝の挨拶・季節の歌あそび・親子のふれあいあそび 制作あそび・楽器あそび・手あそび・リズムあそび 運動あそび・パネルシアターや大型絵本、紙芝居等の お話しなど
自主サークル ・5グループ	月1～2回 10:00～13:00	毎回ママたちで素敵なプログラムを企画して親子で楽しんでいます。 ・ママたちによる読み聞かせ・砂場あそび・体操・プール遊び ・制作あそび・楽器あそび・歌あそび・遠足・カレンダー作り ・ママたちが講師になって、習字教室・美顔レッスン・科学あそび ・外部講師による、着付け教室・ストレッチ教室 ・ボランティア活動・子育て情報の交換（楽しいおしゃべり）
赤ちゃんサロン ・4ヶ月～1才4ヶ月児	月1回 10:30～11:30	栄養士講話・親子のふれあいあそび・手作りおもちゃ 読み聞かせ・リフレッシュ体操・身体計測・誕生会
子育て講座	月1回 10:30～12:00	救急救命教室・ベビーマッサージ教室 親子ピクス・子育て講話・フラワーアレンジメント教室 三世交代料理教室・スクラップブック教室
育児相談	火～日 9:00～17:30	子育て家庭の相談
出前保育 ・南部地区公民館	月1回 10:30～11:30	朝の挨拶・親子のふれあいあそび・制作あそび 読み聞かせ・リズムあそび・体操
なかよし運動会 ・べっぴんアリーナ ハッピークリスマス会 ・中央公民館	年1回 10:30～12:00	未就園児にもたくさん子どもたちと触れ合いながらあそびを共有できる 場を提供するために、運動会とクリスマス会を大きな施設で行うよう にしています。利用者の親睦を図りつつ、また、家族で楽しさを共有で きるような環境作りとプログラムの構成を心がけています。



★最も力を入れている事

昭和3年に建てられたイタリア製シタイル張りのモダン建築（登録有形文化財）で、現在も外観はほぼそのままに1階が子育て支援センター、2階は児童館として一般に広く開放しています。遊戯室には、発達年齢に応じた遊具をたくさん配置し、落ち着いたスペースで親子で絵本やぬりえ、パズルを楽しめる「えほんのへや」や赤ちゃん専用の「静養室」もあり、南側の引き上げ式の窓からふりそそぐ陽の光を浴びてあそぶ子どもの笑い声がいつも響いています。遊戯室で毎月行う誕生会も好評です。児童館に併設されているので、母親クラブや子ども会など地域組織との連携・協力を得ながら幅広く活動できています。

たとえば、毎年4月に開催される温泉まつりでは別府市子ども育成会連合会の協力を得て子ども創作みこしを制作して親子で参加しています。食育活動として三世交代料理教室を実施していますが、浜協母親クラブの会長さんをはじめ会員のみなさんが講師と託児を務めてくれています。その他、地域の祭りやクリスマス会、敬老祝賀会などにも参加しています。2階の児童館のホールを利用して行う育児サークルや赤ちゃんサロン、読み聞かせの会、子育て講座では児童館の職員の協力も得て、充実した活動ができています。育児サークルを卒業したママたちによる自主サークルの活動も活発です。毎回、ママたちがアイデアいっぱいのおそびを計画して、親子で楽しんでいます。活動は室内でのおそびが中心ですが、天候のよい季節は公園やみかん狩りに出かけることもあります。それぞれのサークルが自分たちに合ったペースで活動を楽しんでいて、お母さんの笑顔がそのまま子どもたちの笑顔につながっています。

★利用者の声

・引っ越してきて、ママ友や子どもに友だちができるか不安でしたが、わらべを市報で知り、子どもたちの好きなおもちゃがたくさんあって何度も来るようになり、そこで知り合ったお母さん方と仲良くなることができ、今では子どもも自分も大好きな場所ですここに来ると元気をいっぱいもらえます。季節の行事など家ではできないようなダイナミックな遊びや歌、手作りおもちゃなど先生方が工夫されてとても楽しいです。ランチルームもあり、お弁当を作り朝から子どもと十分満足して遊べるところも気に入っています。

・わらべを利用して4年になります。先生方に「もう、歩けるようになったの?」「おしゃべり上手になったわね!」等、声をかけていただいて子どもの成長と一緒に見守ってもらえるありがたい場所です。お陰で親子共々、仲の良い友だちも出来て世界が広がって感謝しています。

・子どもが楽しく遊んでくれるのが何よりです。最近は家でも、「おひさま!オハヨー」や「エビカニクス」を歌って踊っています。先生方の対応がとても丁寧だと毎回励まされてます。何よりも子どもにとって、素敵なことだなんて感謝しています。

★課題・展望

子育てに疑問や悩みを感じているが利用されていない保護者の方が、気軽に立ち寄りお子さんを通して子育て仲間を見つけたり、また家で二人っきりで煮詰まっているお母さんとお子さんの息抜きの場となればいいなあ!と常々思っています。身近に子育て支援センターがあることを知らないで過ごしている方に知らせていかなければと思います。

アウトリーチの手立てとしては家庭訪問やノーバディズ・パーフェクト講座が有効と思われそうですが、家庭訪問については全く実施されていない状態です。職員間で共通認識を持てるよう研修を行い、きっかけを作っていきたいと思っています。



～だれもが利用しやすい スキップして行ってみたい「どれみ」～ 別府市北部子育て支援センター『どれみ』



運営：別府市
住所：〒874-0015 別府市国立第二
TEL：0977-66-8181
FAX：0977-66-8195
URL：http://www.city.beppu.oita.jp/06sisetu/kosodate_center/doremi/index.html
開設平成：2001年7月1日
開所時間：9:00～17:30（月～土）
休館日：日祭日・年末年始
スタッフ：センター長1名 主任保育士1名 保育士2名



★利用者の声

- ・内装が木の造りでとても温かく、遊びやすく居心地がよいです。
- ・場所がわかりにくかったのですが一度きたら来やすくなりました。
- ・同じくらいの子どもさんが多くて、お母さん方と友達になってよかったです。
- ・ランチの日はずっと長居をしてしまいます。
- ・職員に相談することも気軽にでき、話しやすいです。



子育て相談	【電話相談】 【面接相談】 ・年齢別自由参加サークル ・親子ふれあい教室 ・どれみシアター ・育児講座	月～土 9:00～17:30 月3回 親子ふれあい遊びやお話など 月4回 カレンダー作り・リトミック・手作り教室 年7回 季節の行事や、絵本の読み聞かせ等 年2回 保健師による子育てに関する話 消防士による救急救命法など
子育て支援	・親子講座（すきっぷ講座） ・マタニティ講座 ・行事参加 ・子育てサークル支援 ・NP講座 育児に関する情報の提供	全6回 親子遊び ・母親同士の交流 全6回 マタニティヨガなど 各年1回 運動会・クリスマス会・消防署見学 随時 自主サークルの支援・援助 全6回 子育ての悩みなどフリートーク ・ホームページ
広報	出前保育	・毎月1回情報誌（おんぶ） 発行・配布 ・毎月1回サークル通信（わおん） 発行・配布 ・情報の掲示 ・公園保育 ・公民館保育

★最も力を入れている事

北部地区の子育て支援の拠点施設として、平成21年7月に内籠保育所との複合施設でリニューアルオープンをしました。敷地も広くなり、就学前の子どもたちと保護者の皆さんがいつでも気軽に遊びに来れる施設になりました。木をふんだんに使った温かみのある作りで、バリアフリーとなっている建物には、足下の点字ブロック・多目的トイレのほか、ゆっくり授乳ができる授乳室を設けるなど利用者に優しい建物となっています。

また、子どもたちが遊びやすいように、ままごと・絵本・おもちゃなどのコーナーとは別に、室内用自動車や、ホール遊びがのびのびとできる専用ホールを設けています。遊ぶ場所が分かれることで、赤ちゃんが危険なくのんびりと遊べるように、また、少し年齢の上がった子が元気よく遊べるように配慮しています。

子育てサークルの支援を行っていますが、現在は、0歳児・1歳児・2歳以上児と年齢別に3サークルが設けられており、親子が触れ合ったり、年齢に応じた活動を取り入れたり、同年齢を持つ保護者が、語り合い共感できるフリートークの場ともなっています。

運動会・クリスマス会・消防署見学などでは、お父さんの参加も見られ嬉しく思います。出前保育の一環として公園保育を行っていますが、支援センター内と違い、広々とした大空のもと、子どもたちも保護者の方も何となくリラックスしている姿が楽しく感じられます。これも、公園という自然の中での保育だからだと思います。支援センターのスタッフは、明るい笑顔で来訪者を迎えることをモットーとし、子育てに悩む保護者の方々が、気軽に話しかけられる雰囲気作りを心がけています。

★課題・展望

子育て中のお母さんでも、支援センターのことを知らずにいる人や、他市・他県より転入してきた方などに、いかに子育て支援センターのことを知ってもらおうかだと思います。また、子育て支援センターのことは知っていても、場所や、支援センターの活動内容等について問合せがあるので、地域に根付くためには、もっと広報をしなければならぬと感じます。

今までは、子育て中のお母さん方を中心にした活動が多かったのですが、これからママになる妊産婦さんへの支援を行うことにより、出産後の支援センターの利用を推進し、子育ての不安など解消につながってほしいと願っています。

また、自主サークルが立ち上がり、お母さん同士の連携や、子育てを楽しんでいる様子が見えるので、今後も自主サークルが増えていくように援助していきたいと考えています。



～あそべるね まなべるね の べるね～ 別府市西部子育て支援センターべるね



運営：別府市
住所：〒874-0838 別府市荘園 6組-5
TEL：(0977) 27-1128
FAX：(0977) 27-0333
URL：http://www.city.beppu.oita.jp/06sisetu/hoppe/index.html
開設年月日：2005年4月
スタッフ：保育士（常勤2名・非常勤1名）
保健師（常勤1名）

活動	開催日	内容
日常支援	随時	支援センタールームを開放し、コミュニケーションをとりながら、親子への支援、相談を行い育児不安の軽減、親子同士のつながり作りへの支援を行う。また適宜、読み聞かせ、ふれあい遊び、リズム制作など年齢、人数にあわせ行う。
育児サークル	毎月1回	◎赤ちゃんサークル(2グループ) 親子のふれあい遊びや保健師による健康講話/お母さん同士の情報交換等
	年間5回	◎パパサークル パパならではのダイナミックな遊び、ふれあい遊び、クッキング、子育て座談会等
	毎月1回日曜日 10:30～	◎絵本とお話の会(外部団体ボランティア) 絵本の読み聞かせ、パネルシアター、制作等
	毎月1回火曜日 10:30～	◎パパベットの会(外部団体ボランティア) 絵本の読み聞かせ、パネルシアター、手遊び等
自主サークル支援	毎月1回 10:30～	◎多胎児サークル(ビーナッツ) 自主サークル活動への支援を行う
相談活動	随時	育児相談を保健師、保育士が行う。(電話や面接で対応)
食育事業	年3回	◎離乳食講習会(専門栄養士)
	年1回	◎幼児のおやつ講習会(専門栄養士)
	年4回	◎親子クッキング(専門栄養士)
地域での活動	毎月1回 10:45～	◎出前保育 公園や市役所、公民館に向き、ふれあい遊び、読み聞かせ、リズム、制作等行う。
季節の行事	各1回	遠足、七夕、運動会、クリスマス会、節分等
その他の講習会	年1回	◎救急救命講習会 消防署救急救命士による講習会
その他の活動	毎週木曜日 11:00～	◎リズム 親子のふれあい遊び、リズム、体操、集団遊びなど
	随時	◎身体計測 身長、体重の測定
	随時	◎お誕生日おめでとう 手形をとってパースターカードを作りみんなで誕生日のお友達をお祝いしてあげる。



★利用者の声

- ・とても広くて開放的なので年齢の大きい子どもも活動的な遊びがのびのびとできて良いと思います。
- ・明るくて、木のぬくもりを感じます。
- ・センター内に折り紙や制作がいつでもできるようなにしているのでもって楽しく、参考になります。
- ・家では特定の玩具しかないし、テレビをみる事が多くなるのでこのような場所があって本当に助かります。
- ・この場所に来ることで同じ年齢の子どもや異年齢の子どもと触れ合って遊べ、友だちが出来て嬉しいです。
- ・センターの先生達も優しく来て館しやすいです。
- ・パパサークルがあるのは、別府ではこのセンターだけなので父親もサークルに参加するのをとても楽しみにしています。また、その間は自分の時間を持てることも嬉しいです。教えてもらった料理を家でもしてくれるようになりました。
- ・子どもの大変さを父親に話しても解かってもらえなかったのに、パパサークルに参加することで子どものことをわかってもらえ共通認識できたことがよかったです。

★最も力を入れている事

ここは、保育所、児童館、支援センター、ファミリーサポートセンターの複合施設です。児童館、支援センターのある2Fは明るく開放的で、大きな広い窓からは太陽もサンサンとふりそそぎ、海、山、空、公園の木々を見渡すこともでき、ほっと癒されるスペースです。また、吹き抜けのスペースウォークからは1階の保育所の様子がよくわかり利用者も安心して預けられます。センターの部屋では0歳からの遊具も充実しており季節ごとの折り紙や制作など親子で楽しめます。

子育てに関する育児本も貸し出ししておりママ達に喜ばれています。

また広いホールでは走り回ったり、ボール遊びをしたり、車に乗ったりとおもいきり遊ぶことができる一方、赤ちゃんものびのびとハイハイできるスペースも設けています。支援活動において試行錯誤してきた中で、サークル中心ではなく、より身近に多くの方々と触れ合い、繋がることをコンセプトに、日々読み聞かせや親子のふれあい遊び、リズム遊び等行っています。少しずつお母さん達が積極的に参加してくれるようになった事も嬉しく感じています。

月2回は赤ちゃんサークルも行っています。土日にはパパとの来館も多くなり、パパサークルもできています。パパならではのダイナミックな遊びをしたり、パパクッキングでママにも手作り料理が振舞われ、ママからも大変好評です。

また、保健師が常駐しており、いつでも気軽に発達相談ができるのも大きな魅力の一つです。保育所の一時預かり、ファミリーサポートセンターの情報もすぐに聞くことが出来るのも、ママ達にとって嬉しい事だと思います。

複合施設の特徴を活かし、今後も専門機関や地域との連携を深め、子育て家庭が“ほっ”とせずさせる ほっパークをめざしていきたいと思ひます。



★課題・展望

センターに来ることができない親(ひきこもりなど)の支援をどうしてあげたらいいのか? もっと地域の人や各機関との連携を図るにはどうすればいいのか? お母さん達にとって本当の支援とはなにをするのかなどが課題です。

拠点施設だからこそ、子育てで忙しい親が小さいお子さんを連れていろいろな場所に出かけていなくても、ここに来れば、なんでもできる体制(例えば保健医療課の乳幼児検診など)が将来的にできるというなあと思ひます。



～限られたスペースだからできるよりそう顔とよりそうこころづくり～ すくすくルーム ふたば



運営：医療法人社団 ふたば会
住所：〒874-0919
別府市石垣東4-5-4矢田こどもクリニック2F
TEL：0977-22-9770
FAX：0977-26-4015
E-mail：futaba@ma-rukun.jp
開設年月日：2008年4月1日
スタッフ：保育士3名 心理指導員1名
(うち2名)兼務



活動	開催日	内容
一般開放	月・火・金・水・木 9:00～14:00 12:00～14:00	春夏秋は、水遊びを中心に。冬は素足になって室内で遊びます。自由参加。
サークル	水・木1組目 9:30～10:30 水・木2組目 11:00～12:00	各曜日2サークル(計4サークル)。年間予約制。年数回曜日合同遊び実施。
公園保育	毎週月曜日 10:00～11:00	市立南石垣公園に集合。戸外ならではの体力と感性を輝かせます。
Sukusuku体操	第2金曜日 10:00～11:00	専任の講師が来て親子で体操をします。春、秋の年令別水中運動も好評。
ぐるんぱの会	第3火曜日 10:00～11:00	わらべうたと読みみかせ。家庭へ戻った時母子関係の土台であるスキンシップ・コミュニケーションづくりがねらいです。



★魅力・思い

県外からの転入者や、小さい子どもをもつ家庭の多い別府市石垣地区に「すくすくルームふたば」はあります。身近に親戚や知人誰一人もない母が遊びに来ることも珍しくありません。

「おはよう」…緊張しながらも「ふたば」へ第一歩を踏み出せば、誰かが必ず挨拶を返してくれるのが「ふたば」の最大の宝かもしれません。

限られたスペースの中では、親子2人きりでポツンという姿はしたくても出来ません。必然的に「どこからきたの?」「いくつ?」と周りのママが声をかけてくれます。今まで閉ざされていた心の扉がホッと開きます。

また、うす着・素足を奨励しています。室内での素足も定着してきました。ハイハイを練習中の乳児も多いことから手、足の力を十分使って動ける環境にも力を入れています。夏場には、母親から率先して素足になり砂あそびに参加する姿に、スタッフも負けじと必死になります。

階下には、小児科があります。

利用者に今流行っている病気などをつぶさにお知らせできるのも魅力のひとつです。スタッフでは対応に即答できない場合には、ベテラン看護師にヘルプを出すこともあります。また、親子の心理面でのケアには、院長や専門スタッフが加わりサポートにあたっています。

開所2年目に突入し利用者もスタッフも少しずつ先を見ながら集う場所づくりに奮闘中の「すくすくルームふたば」です。

★課題・展望

身体的な障がいや、こころの発達に気になる子どもたちを含め、利用者同士が支えあい、認め合う居場所作りが大きな課題です。

また3年目にあたる2010年4月には、自主サークル活動を踏み出す予定です。

その中から積極的に運営に関わっていただけるボランティアが出てくるよう、後押しをしていきたいと思えます。

★利用者の声～利用者Eさんのお話～

結婚して実家を遠く離れ、はじめて九州に来ました。子どもが生まれ、健康の事・発達の事など悩むことも多く、夫と話し合いながら、時々市の育児相談に参加したりしながら、なんとか0歳の時期を乗り越えました。ただ、ほとんどが私と娘の1対1の生活だったので、娘が両親以外の人と触れ合う機会がとて少ないことや、私がちょっとした事を相談したり、談笑できるような友達が近くにいなかったことで、寂しく思うことも少なくありませんでした。

そんなところに、「ふたば」のサークル募集を見つけ、応募させていただきました。はじめの頃は、私の陰に隠れたり、じっと様子を伺うことの多かった娘ですが、今ではみんなと一緒に遊ぶことが大好きになりました。

私も、先生方はもちろん、同じような境遇のお母さんとも出会うことができ、本当に小さな悩みや苦勞話から、たわいもない世間話まで、たくさん相談にのってもらっており、皆さんに助けていただいています。身近な場所に駆け込むところがある事は、本当に心強いです。



～地域の方の子育てのちょっとのお手伝い～ 地域子育て支援センター風のまち



運営：社会福祉法人別府永生会
地域子育て支援センター風のまち
(ナーサリーみふう2階)
住所：〒874-0931 大分県別府市西野口町8-30
TEL：0977-27-5466
FAX：0977-27-5534
E-mail：mini-s@rice.ocn.ne.jp
URL：http://www.beppeuseikai.jp/minihoo/
開設年月日：2005年4月
スタッフ：正職員1名(保育士) 非常勤職員1名(社会福祉士)
臨時職員1名

活動	開催日	内容
保育園解放	毎月1回 9時～11時	※同年齢のクラスに入り親子で保育園生活を体験 ・手作りおやつ提供(レシピ配布)
お試しランチ おやつ作り	年4回 10時～12時	・保育園の給食を試食、栄養指導(離乳食、幼児食に分かれ実施) ・保育園の栄養士の指導でおやつを作る
親子であそぼう	毎月4回 10時～11時	・お誕生会・季節にあった制作 ・絵本の読み聞かせ、リズムあそび ・プールあそび・うんどう会・クリスマス会 ・年齢に分かれての自由あそび
世代間交流	毎月1回 内容によって時間変更あり	・公園であそぼう(近くの公園で日頃は参加出来ないお兄さん、お姉さんとあそぶ) ・うみたまご、ハーモニーランド遠足 ※町内の婦人会の方に郷土料理を教わる ※交通安全教室 ※夕涼み会
園庭解放	毎月1回 10時～11時	・保育園の園庭を解放
やよい文庫	月曜～土曜 10時～16時	・約900冊の絵本があるミニ図書館 ・無料で1週間3冊の貸し出し
ファミリー広場	月曜～土曜 10時～16時	・自由にあそべるスペース
子育て相談	月曜～土曜 (随時受け付け)	・子育て、家庭の相談

※保育園合同で行う活動

★最も力を入れている事

「地域の方の子育てのちょっとのお手伝い」をモットーに、地域に密着した支援センターです。保育園と隣接しているため、保育園開放、給食の試食、おやつ作りなど保育園の体験を親子で楽しむことができます。これから保育園の入所を考えていらっしゃる方に多く利用して頂いています。保育園の栄養士による食育指導もあり人気があります。地域の方との交流も多く(世代間交流)、町内の婦人会の方に郷土料理を教えていただいたり、夕涼み会や近くの公園で幼稚園や小学生のお兄さん、お姉さんとあそぶ活動も行っています。やよい文庫というミニ図書館には、約900冊の絵本があります。親子でたくさん絵本に触れ合って欲しいという願いから、毎年絵本を増やしています。1週間に3冊無料で貸し出しをしています。この「やよい文庫」を利用するようになって、親子で絵本が大好きになりましたという声を聞くようになり、うれしい限りです。

こうして当センターを利用して「楽しかった」「～するようになった」「～できるようになった」という声を聞く事が、私たち職員の一歩の励みになっています。利用者のニーズに少しでも応えながら、地域に密着したセンターでありたいと思います。

★課題・展望

はじめの一歩が、なかなかでないお母さんをどのように誘うか、利用者にも呼びかけをお願いしながら、地域の輪を広げていきたいです。

★おやつ作りに参加した母親の声から

「とても楽しいです。レシピをもらえるのもうれしいです。さっそく家に帰ってから作ってみようと思います。」とか「とても簡単にできておいしかったです。なかなか家でしてあげられないおやつ作りは、いつも楽しみにしています。これからも親子で楽しめるものをお願いいたします。」といううれしい声をいただいています。



～子育てルームあのね～ すみれ児童館



★日時：毎週10:00～13:00
火 えいごで遊ぼうA・B・C
木 楽しく遊んでリトミック
金 子育てワンポイントアドバイス
ほ～っと一息・ティータイム
毎月1回土曜日10:00～13:00
土 作ってみようおばあちゃんの味+元氣汁

★毎月5日：子育て相談日(内容により専門機関との連携あり)
★第四木曜日には専門講師も導入しています。



運営主体：社会福祉法人 熊崎福祉会
所在地：〒875-0004
臼杵市大字大野字友田大道西15番地
TEL：0972-63-7343
E-mail：sumire@kumasaki.or.jp
HPアドレス：http://www.kumasaki.or.jp/
開設年月日：1997年4月1日
スタッフ：4名(他併設保育園より)

★最も力を入れている点

すみれ児童館は、地域とのバリアフリーをはかり、午前7:00から午後8:00まで開館し、自ら、「気づき・考え・実行する」をモットーに取り組んでいます。そのなかで、子育てルーム「あのね」は、子育て中の親子が、気軽に足を運べる地域の拠点として、保育の提案をはかると共に、「人と人との出会い」を大切にしています。また、子育て中のお母さん方が、多様な行事において、地域の方々と触れ合うことは、先人たちの知恵を学び、子育ての楽しさを感じ、子育て力を養うことにつながっています。

★課題展望

アウトリーチとして、以前は、市の検診において、保育の提案をしていましたが、ここ数年、進んでないため、これからは、アウトリーチに、力を入れていきたいです。

★利用者の声

・引越して来て、我が子も、私も、孤独を感じていましたが、ママ友たちがたくさんできて、うれしいです。
・友だちに誘われて、来ました。二人の子どもに、もうアタフタな私ですが、心に余裕ができた気がします。
・「毎日でも、利用して下さいね!!」というスタッフの方々のあたたかさが、とてもうれしいです。
・リトミック、とても楽しみにしています。家でも、子どもとのスキンシップに使っています。ありがとうございます。

スタッフの声

すみれ児童館は午前7:00から午後8:00まで開館しています。赤ちゃんから、おじいちゃん、おばあちゃんまで、毎日笑い声がたえません。当児童館では、保育園と併設しているため、園児との交流も楽しさの一つです。気軽に足を運んでください。スタッフ一同お待ちしております。





～子どもを通してあったかい気持ちになれる場所・ほんわか笑顔になれる場所～

子育て支援センターウスキッズ



運営：社会福祉法人 海辺福祉会 海辺保育園
 住所：〒875-0012
 臼杵市大浜526-2
 TEL：0972-62-3464
 FAX：0972-62-4108
 開設年月日：2009年4月1日
 スタッフ：常勤2名（保育士）



活動	開催日	内容
拠点利用	月・火・水 9:00～15:00	親子で来園し、外で思い切りあそんだり、お部屋であそんだり、絵本を読んだり、自由に過ごせます。
サークル ふわふわっ	毎週（水） 10:30～12:00	0歳児サークル。毎回、親子ふれあい遊びでスキンシップした後、週の活動として、身体計測、タッチケア誕生会他おもちゃ作り、散歩など楽しめるものを取り入れている。登録制ではないので気軽に参加できる。
サークル にこにこ	第2、第4火曜日 10:00～12:00	母親クラブに認可。子どもと一緒に楽しく活動する育児サークル。外遊びや、フェイジョアでの親子遊び中心の他、リトミック、講習会など行う。ママたちで年間計画をたてて活動。いつでも入れる。見学OK。
サークル シュガーママ	第4木曜日 10:00	子どもたちが、幼稚園、学校に通うようになり、チョット自分の時間ももてるようになったママ達のサークル。 活動例：バドミントン、ヨガ、フラワーアレンジメントなど
プレイデー	毎週月曜日 10:00～15:00	保育園園庭開放。近くに遊ぶ場所がないお友だちが気軽に参加できる。自由に好きな遊びを楽しめる。
できるかなあ	2ヶ月に1回程度 10:00～12:00	親子で製作を楽しむ活動。毎回のテーマに沿って、お家の人と一緒に描いたり、貼ったり、折ったりして、作品作りを楽しむ。最後に絵本の読み聞かせを行っている。
子育て講習会	適 時	妊婦さん、子育て中のママや親子を対象にした講習会。タッチケア、救急法、リトミックなど行う。開催は通信「ウスキッズ」他、スーパー園庭でポスターを掲示し知らせる。
育児相談	月・火・水 9:00～15:00	子育ての悩み、不安、わからないことなど、何でも応じる。電話相談あり。



★最も力を入れている事

◎ふわふわっ（0歳児）サークル

ママたちがなかなか外出できず、部屋に閉じこもりがちになり、日中、母子2人きりということをよく耳にします。オムツ交換や授乳以外でも、赤ちゃんとのスキンシップが図れるように、親子のふれあい遊びの仕方、声のかけ方、接し方を、遊びと一緒に取り入れています。また、参加してくれたママには、「今日のお題」として、毎回こちらがテーマを決め、必ず一言しゃべってもらうようにしています。何か少しでもしゃべることによって、気分転換になったり、ママ同士の友だち作りのきっかけになれるのでは・・・と考えています。拠点の職員にとっても、ママとの話のきっかけができたり、ママの思い、考え方がわかるきっかけとなっています。

◎にこにこサークル

母親クラブに認可されており、ママたちの中でリーダーさんを決め、その方たちを中心に年間の計画を立てて活動しています。リーダーという役に気が重くなるママもいて、年々人数が減り、運営自体が難しい状況であることは確かです。しかし、今年から、リーダーはいくらでも以前より負担にならないように内容を見直し、いつもいつも力チツとした活動ではなく、緩やかな感じで、ママたち自身がやりたいこと、やってみたいことを取り入れ無理なく活動しています。また、今年は1年間を通して、活動の時に必ず絵本の読み聞かせを取り入れています。自分の当番月に、ママたちが選んだ本を1冊ずつ読みます。最初はざわついている子どもたちも、だんだん絵本の魅力に引き込まれていくようです。このサークルは、ママたちがお話しする機会、活動が多くなるにつれて親密さが増し、プライベートでも仲良くなったり、サークルを卒業後も連絡をとりあったりしているようです。

◎保育園がいつも開放的なので、拠点「ウスキッズ」も開放的にしています。どうしても人数制限をしなければならない講習会以外は、どれでも、気軽に参加できるようにしています。どのサークルもいつからでも参加OKです。サークルに限らず、拠点「ウスキッズ」も、もっといろんな方に利用してもらいたいと思います。

★課題・展望

◎多くの方に拠点を利用してもらいたいのので、いろんな機関に広報誌を配布して置かせてもらっていますが、まだまだ存在を知られていないこともあります。たくさんの方に知ってもらうように努力したいです。また、サークルだけでなく、個人で利用する親子の為に、今以上にゆったり過ごせる場所を提供していきたいと思えます。

◎サークル活動では、ママたちがお客様参加型にならないように、できることはママたちもやってみる、特技のあるママの能力を生かした活動を取り入れたり、ママが主体となってやれる活動や方法も取り入れたいです。

★利用者の声

◎週1回のサークルが楽しみです。子どものいろんなしぐさ（うまいまい、お返事はーい！など）ができるようになって子どもの成長を感じたり、子どもが同じ年齢（月齢）のママと、子育てや、子どもの事について話したり、子育てには全く関係のない話をして、ストレス発散をしています。（0歳児サークルのママ）

◎園児が、抵抗なく話しかけてくれたり、子どもと一緒にあそんでくれたりするのがうれしい。（拠点利用プレイデー参加のママ）



～子どもたちのきらきら輝く明日を描く～

子育て支援センター「ホワイトキャンパス 童(わらべ)」



運営：特定非営利活動法人 みずのわ
 住所：〒875-0201 臼杵市野津町大字吉田字仮屋3026
 (NPO法人 みずのわ事務所)
 臼杵市野津町野津市1050番地
 (保健センター内) 童(わらべ)の事業所
 TEL/FAX：0974-32-3070
 (NPO法人みずのわ事務所)
 E-mail：mizunowa@star.ocn.ne.jp
 童(わらべ)専用携帯：090-6895-9643
 童(わらべ)専用携帯メール：kosodate.405.warabe@docomo.ne.jp
 URL：<http://www18.ocn.ne.jp/~mizunowa>
 (工事中につき更新次第UPします。)
 開設年月日：2004年(H16年)4月5日
 スタッフ：常駐スタッフ2名(月・木は3名)



活動	開催日	内容
プレイルーム開放	月～金 9:00～12:00 13:00～16:30	親子・祖父母同伴で自由に遊べます
子育て相談	月～金 9:00～16:30	スタッフが随時相談を受けます
一時預かり保育	月～金 9:00～16:30	利用料金 300円/1時間 兄弟割引あり、(相談に応じます)
ベビー用品貸し出し	月～金 9:00～16:30	返却期間は相談に応じます
本・絵本の貸し出し	月～金 9:00～16:30	返却期間は相談に応じます
読み聞かせ	随時	サークル等でします
育児サークル(わいわい)	火 10:00～12:00	季節行事・おやつ作り、工作など
○保育サポーター養成講座 ○タッチケア ○コーチング	年1回(計画中) 年1回 臼杵市役所 保険健康課共同開催 (計画中)	予定が決まり次第報告します。

★最も力を入れている事

子育て中のママ、これからパパ・ママになれる方、そして孫育てのおじいちゃん、おばあちゃんがホッと息抜きできる場所として、プレイルームを開放しています。

お子さんがプレイルームで楽しく過ごせるよう、スタッフは安全面や衛生面等に配慮しています。

「童(わらべ)」は臼杵市野津町保健センター内にあり、保健師さんに健康面や栄養面(希望があれば離乳食等も)等の相談に対応できます。

「童」のスタッフは子育ての先輩として、育児でお悩みのパパ・ママの声に耳を傾けるとともに、心に寄り添う支援を心がけています。そしてスタッフも日々たくさんの方の事を学ばせてもらっています。

「童」も開設して6年目になります。年々少子化の影響を受け、プレイルームを利用する親子や育児サークルの数は減少してきていますが、「童」を訪れてくれた親子との出会いを大切に、子育てを応援していきたいと考えております。

そして、この「童」が地域の子育てを支えるひとつの社会資源として、地域に密着した、地域の皆様に親しまれる支援センターとなるよう、これからも活動の輪、NPO法人みずのわの「共に生きる社会」の「輪(わ)」が広がっていくことを願っています。

★課題・展望

現在、野津町内の方々を中心に、年間約200人の皆さんにご利用いただいています。リピーターも多く、「童」が親子の居場所として大きな役割を果たしている現れと嬉しく感じています。もっと地域のあちこちに「活動の場」を広げられれば、子育ての時期を悩み暮らしている若いパパ・ママを地域の皆さんで支えることのできる、「子どもはみんなで育てる」という環境を再構築できるのではと思っています。また、どなたでも気軽に利用できるよう、情報のネットワークを広げて、行政と連携しながらより良いサービス提供していきたいと考えています。また、「利用者の声や現状」を「地域の課題」として行政に繋いでいくことも「子育て支援センター童(わらべ)」としての役割と思っています。

★利用者の声

利用者Aさん～

最初のころはお母さんたちの輪にどうやって入っていったら良いかわからず悩んでいたけど、スタッフの方に話を聞いてもらって仲良くなり、冗談を言い合えるほどになり、助けられました。

子ども自身もサークルの中でたくさんの社会勉強をすることができて、この場所があって良かったなぁと思っています。

利用者Bさん～

毎日の子育てに一生懸命な私の気持ちがほぐれて、良い息抜きスポットになりました。





～やさしい～おばあちゃんと一緒だよ♪♪～ よいこのへや



運営：(社)臼津地域シルバー人材センター
住所：〒875-0041 臼杵市港町本通り8組
TEL：0972-83-4415 (やさしいよいこ)
FAX：0972-62-3545
URL：http://www.sjc.ne.jp/kyuushin/
開設日：2007年1月20日
スタッフ：13名 (2～3名交替配置)



事業	日時等	内容
(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進	毎週月・水・金 9:00～16:00	図書館、地域情報センター、銀行、郵便局、スーパーなどが集まっている中心市街地の空き店舗を借用し、シルバー人材センターの行う育児支援拠点を開設。幼稚園や保育園OB会員が中心になって、親子の利用だけでなく子どもだけの預かりも実施。ヒップホップダンスなどを取り入れている。
(2) 子育て等に関する相談、援助の実施		経験豊かなおばあちゃん世代による見守りで、一緒に折り紙をするなど安心してくつろげる場を提供する。そうした雰囲気の中で相談し、お互いの悩み事話し、共有することで母親同士の交流にも繋がる。
(3) 地域の子育て関連情報の提供	月1回	市の保健師さんの協力を得ながら、保育情報の提供や育児情報などを提供。開設日には、チラシ等の配布。ホームページに催しことなどの掲載。新聞折込やケーブルテレビなどの情報発信。
(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施	月1回	育児支援班の会合を行う。今年度は新型インフルエンザ・食とアレルギー等具体的なテーマで研修を行う。講師は保健所や市の保健師さんほか。このほか、年に5日間、会員のスキルアップを図るため、育児支援講習を行う。ボランティアでイベントなどの育児補助を実施。
(5) 子どもだけの一時預かり(ミニ託児所)		1時間単位で子どもを見守ることで、子どもたちを預かり、お母さん方に安心して用事をしていただく。お母さん方に「ほっとタイム」を提供しリフレッシュ後、育児に頑張ってください。
(6) 市の体育館を利用した異世代交流「ヒップホップダンス」	毎月第2土曜日 10:00～12:00	臼杵市諏訪山体育館でヒップホップダンス、ボールあそび、紙芝居等を幼児から高齢者を含め実施。「よいこのへや」を飛び出して元気に交流。

★利用者の声

- ・ママ友達も一緒にみえてお話しします。部屋の環境も良いし、安心して遊ばせる事が出来ます。
- ・保健師さんが子どもの体重測定や子育ての相談に色々とお話してくれました。
- ・他のお母さんは「家に居ると子供にあたってしまふ、ここに来るだけでいい」と話されていました。
- ・お母さん達が、生活の事や子供の状態等について情報交換を楽しんでいる中、子ども達もおりこうさんに遊んでいます。
- ・「よいこのへや」は安心して預けられます。
- ・毎日オープンしてくれるといいのですが。

★最も力を入れている事

親子で安心してくつろげる場として、また、親同士あるいは子ども同士の交流、情報交換の場として活動しています。また、病院や美容院に行きたい、図書館や催し事に参加したいといったお母さんのための「ミニ託児」も行っています。1時間単位でお子さんを預かっており、お母さんも気軽に安心して自分の時間を過ごす「ほっとタイム」を持つことができ、育児にも頑張れるようです。

開設当初は不安だらけでしたが、「お母さんが美容院に行くのに預けに来られた子どもさんが、30分過ぎたころからため息をついたりぼんやり外を眺めたり・・・じっと我慢している様子が愛らしくいとしかった。」「おうちから迎えが来ても『帰りにくい!』。」「最近ではお母さんが言うことを聞かない子どもに『よいこのへやにいかないよ』つという、言うことを聞いてくれるんです。」等々、日誌の中に子どもたちや見守る側の思いを綴った文字が増えていくにつれ、「よいこのへや」もお母さん方にだんだん認知されていったように感じています。この日誌は、スタッフにとって本当に大切な宝物です。この宝物のありがたみは、幸せな時ばかりでなく苦しい時代も生き抜いてきた、還暦を過ぎてでもなお健康で子どもたちと関われるありがたさを知っている世代のスタッフだからこそ、より一層感じる事が出来ると思います。

人生経験に根ざしたスタッフの何気ない言葉を、お母さん方も受け止めてくれているようで、利用者数も順調に伸びています。

「よいこのへや」では、スタッフが行う読み聞かせや遊戯等のほか、市の保健師さんに月1回講話をお願いしています。また、お母さんが講師を務める「ヒップホップダンス」も月一回開催していたところ非常に盛況で、市体育館を全面借り切るまでのイベントになりました。多い時には100人を超える幼児や小学生高校生お母さん、おばあちゃんが、世代を超えて元気に楽しいひと時を過ごしています。

さらに、子どもを預けている時間を利用してパソコンに馴染んでもらえるよう、「ジジババとお母さんのためのパソコン教室」も開催しています。定員20名のうち6名が子どもを預けての参加で、和気あいあいの雰囲気の中、7日間にわたりマウス操作からテレビ電話の使い方まで頑張ってお勉強しました。

★課題・展望

少子高齢化が進む中、子育ては地域の中で地域の宝物として見守っていく時代です。

シルバー世代のおばあちゃんパワーの見せどころです。「よいこのへや」が市民のみなさんから頼られる「チカラ」となるよう、また、「独りよがり」に陥らないよう研鑽を重ねることが必要です。そのため、毎月、プライバシーや人権問題など、より基本的な研修から、時に応じたテーマについての話し合い等を行っています。

慣れによる気の緩みや、「・・・していたつもり」が、お預かりする命を傷つけ、最悪の場合失わせることのないよう、危険管理にも留意したいと考えています。

また、今後は家庭に向いての家事援助やお母さん方の悩み相談など、活動の範囲を広げていこうとしています。さらにその先には障がい者の家庭への対応も視野に入れており、より一層研鑽を積んでまいります。





～子育て山はみんなの山～ 中津市地域子育て支援センター なずな



運営：社会福祉法人 如水福祉会 如水保育園
住所：〒871-0003
大分県中津市大字是則1246番地2
TEL/FAX：0979-32-5620
E-mail：josui@oboe.ocn.ne.jp
URL：http://www.4.ocn.ne.jp/~josui/
開設年月日：1997年4月1日
スタッフ：常勤2名(保育士)



活動	開催日	内容
子育て相談	月曜日～金曜日 9:00～16:00	電話相談 及び 面談（子育て、家庭等の相談）
園庭開放日 遊ぼう会	毎週金曜日 9:00～14:00	0歳児～年長児までのリズム遊びと、同年齢の子どもの遊びや生活に親子で参加する。参加者同士で昼食会を兼ねたお話し会
サークル支援 (出前保育)	毎週月・火・水・木曜日 9:00～14:00 月1回以上	0歳児～就学前児童で親子でサークル活動している人達と、季節の遊びや、草木染め、フェルト玉作り、炉端を使っての野外食（焼き芋・羽釜を使ってのご飯炊き・サバイバルパン作り等）を楽しむ。市内各サークル所属の公民館や保育園に出向き、親子リズムや、季節の歌・手遊び・紙芝居を楽しむ。
リーダー交流会	年2回	サークル間の情報交換の場
親子鑑賞	年に2～3回	本物の良い劇・歌・器楽・踊り等の子どもの文化に触れる
親講座	毎月1回	生理学・心理学・社会学・文学・栄養学・教育学等の専門家から学ぶ。子供の人權や発達記録映画から学ぶ。
子育て支援情報の提供	随時	子育ての伝承・子育てのポイント・子育て状況を提供する。 (待雪草・なずな・すかんぼ通信・行事案内葉書等)

★最も力を入れている事 親子で色々な体験してもらっています。

- 4月・・・地域の方に貸して頂いたレンゲ畑の中で昼食会を行っています。
- 5・6月・・・庭に咲いている花や、野の草花を押花にし、お子さんの写真等と一緒にキーホルダーやしおりを作っています。
- 7・8月・・・広いプールでの水遊び。雨天時は、染め紙作りや、牛乳パックを使っての工作を行っています。
- 9月・・・草木染め（玉ねぎの皮・びわの葉・藍染め等）でTシャツやハンカチを染めています。
- 10月・・・保育園の運動会の練習に参加したり、原毛を使ってフェルト玉を作っています。
- 11月・・・炉端で焼き芋大会
- 12月・・・サバイバルパン作り
- 1月・・・凧作り、七草粥づくり
- 2月・・・鬼まんじゅう・大根もち等、季節のおやつ作り
- 3月・・・羽釜でつくろう!! ごはんとお汁



★最も魅力的だと感じること

安全で広大な園庭。誰でも一度は登りたくなる、高さ約7メートルの築山（4月入園当初は登れない子ども達も、翌年3月には必ず登れるようになります）。秋には、幅2間の縁側に干し柿のカーテンが下がります。約半年活躍する、何でも焼けて、何でも話せて、来た人のお腹も満たす「囲炉裏」。このような恵まれた環境の中で、“ここに来たら、ホッ！とできる” “ここに来たら、何かいい事がある！” と思える場所で、『子どもと子ども』『子どもと大人』『大人と大人』の人繋ぎをできることが一番の魅力です。

★スタッフの思い・・・

物質的に恵まれ、戦争のない平和な国、日本。溢れかえる情報の中で、子育ての本来の姿を親であるみなさんに知ってもらいたいです。“二人ぼっち”ではなく、子育ての楽しさや、同じように悩みつつも頑張っている子育て仲間存在に気づいてもらいたいです。

★課題・展望

誰でも、いつでも気軽に立ち寄れる支援センターを目指して、今まで一生涯頑張ってきました。13年間携わって来ましたが、当初参加されていた保護者の方に会うと必ず「まだ、頑張ってるんですか？あの頃が、ホントに楽しかった。」と声をかけて頂きます。世代交代し、若年化している今の利用者のみなさんに10年後も、声をかけてもらえるよう頑張っていきたいと思えます。

アウトリーチに関しては、ずっと理想に思っていたことですが、センター独自で取組むには難しい面があります。行政と上手に連携しながら、事業の一環として、より多くの方にも関わりを持って行きたいと思っています。そのためには、スタッフの専門性を高め、個々の家庭の抱える問題にも目を向け、耳を傾ける地道な仕事を続けていきたいと思えます。“子育ては楽しい!!” と思える親が一人でも増えることを願い、皆で支えあう子育てを目指していきたいです。

★利用者の声

- ・よそでは絶対体験できない事を親子で体験できて（草木染め・押し花・フェルト玉作り・炉端での野外食）とても楽しいです。
- ・園庭開放（遊ぼう会）では、在園の子ども達の姿を見て“我が子もその子も一緒”と思えてありがたいです。ママ友もできて、ゆっくり話せる時間があるので毎回足を運びたいです。



小児科医院併設の子育て支援センター。養育者、子ども達にとって、明るく広い安全基地！
いっぱい遊ぼう！楽しく遊ぼう！走って遊ぼう！大きな遊具で遊ぼう！ママも遊ぼう！



中津市地域子育て支援センター 木もれび



運営：医療法人 井上小児科医院

所在地：〒871-0027

大分県中津市大字上宮永字友ノ町13-4

TEL・FAX：0979-26-1256

E-mail：komorebi@mirror.ocn.ne.jp

URL：http://www2.ocn.ne.jp/~inouwe/

開設年月日：2003年4月

スタッフ：常勤1名（保育士）、非常勤2名（保育士・指導員）



活動	開催日	内容
子育てランド	毎週火 10時～12時	ミニ講演会・グループ討議 製作・消防署見学など
クラブ童神	毎週木 13時半～17時	友達・パパ・ママ 保育士と一緒に遊ぶ
うたい聞かせの会	毎月第1金 10時～11時半 12時半～14時	季節の歌・童謡・楽器遊び 伝承遊び・リズム体操 パネルシアターなど
ベビーマッサージ	偶数月第4月	ベビーマッサージ
出張保育	月1回	母子保健の説明 パネルシアター
サークル活動支援	年9回	行事に必要な作品の製作 サークル紹介
子育て相談	月～金 10時～17時	子育てについて相談 不安の解消

★魅力・思い

当センターは平成15年4月より医療法人 井上小児科医院内に開設されました。全国的に見ても、幼稚園や保育園などに開設しているところが多く、医療機関が開設しているところは稀です。木の香りのする広い室内に、ボールプール、ブランコ、トランポリン、太鼓橋、つり橋など大きな遊具がたくさんあり、思いっきり体を動かして遊ぶことができます。また、パズル、粘土、積木など、落ち着いて遊ぶ玩具もあります。子ども達が楽しく遊ぶ場所を提供することはもちろんですが、養育者同士が交流し、友達を作り、情報交換ができる場として支援を行っています。

「子育てランド」の中で、子育てに関係する講演会、子育てに関する情報交換を行うグループ討議、季節を表す作品の製作、消防署見学、ハム工場見学など子どもも養育者も楽しめる行事がたくさんあります。

また、「うたい聞かせの会」では、音楽家指導の下、季節の歌、童謡などを歌い、ご家庭でも歌っていただけるよう、歌詞もお配りしています。

他にも養育者の子育ての悩みや不安が解消できるように、専門的見地から対応し、相談、支援を行っています。

出張保育でも、母子保健制度の説明、発達に関する助言なども行っています。ベビーマッサージ、サークル活動支援、子育てコーチング講演会、ワークショップなど定期的に行う行事もたくさんあります。パネルシアターにも力を入れ、出張保育、うたい聞かせの会などでは、養育者、子どもとともに喜んでもらっています。

月1回はアンケートを取り、子ども達や養育者の要望にもお答えしています。また、行事のご案内などメール配信も行っています。

他にも市内の子育てに関する諸機関と連携をし、地域の中でも要望に応えることができる、子育て支援センターを目指しています。

★課題・展望

養育者にとって、気軽に行ける場所、相談できる場所として、地域の中で、もっと広めたいと思っています。養育者の方が、心配なことがあれば、「木もれびに行こう」と思ってもらえるようになれば、幸いです。

出張保育の中でも、木もれびへのお誘いを行っています。なかなか利用につながりません。利用されている方々の声を広げ、たくさんの方に知ってもらい、子育てが楽しくできる地域を目指していきたいと思っています。

子育てが楽しくできる養育者が増えることを願っています。

★利用者の声

- ・来るのを楽しみにしています。
- ・子育ての参考になる話が、先輩ママから聞けてうれしいです。
- ・ここで友達と話し、息抜きができます。
- ・親も子どもも安心して遊べる場を提供していただいて感謝しています。
- ・子どもの人見知りや緊張が緩和されました。
- ・子どもがのびのび遊べます。
- ・いつも楽しい時間を過ごしています。
- ・お誕生日をお祝いしていただけてうれしかったです。
- ・満足です。



～地域子育て支援拠点事業に取り組む複合福祉施設～ 「どうしん」 つどいの広場



運営：財団法人童心会
住所：〒871-0055
 中津市殿町1380-1
TEL：0979-22-2556
FAX：0979-22-2556
開設年月日：2002年6月
スタッフ：常勤1名、非常勤1名、他に若干名



★活動

あくまで利用者主体の広場ですが、月3回の「イベント」、月4回の「おもちゃ図書館」を固定プログラムにしている他は親子の自由な交流の場として活用されており、スタッフもイベント開催日以外は、相談相手として見守りに徹しています。つどいの広場は、月曜日から金曜日の午前10時から午後4時まで開いており、また、月1回広場が休みの土曜日に「たんぼお話し会」の大型紙芝居やエプロンシアターが開催され、親子連れの見学者でにぎわっています。

活動名	開催日時	内容
工作&歌いましょう	毎月第3金曜日 10:30～	工作は、伝統行事などをテーマにして親子で製作の喜びを共感し合う時間です。五感を使うリトミックの時間もあります。手遊び歌、季節の歌などで健やかな心と豊かな感性を養う活動です。
読み聞かせ&おやつづくり	毎月第4月曜日 10:30～	読み聞かせによる心のだっこの時間です。季節のおやつづくりを通して、食事の大切さを学びながら楽しい時間を体験できる活動です。
英語で遊ぼう	毎月第1月曜日 11:00～	インド出身の女性講師と一緒に過ごす中、言語だけでなく、色々な触れ合い体験ができる活動です。
おもちゃ図書館	毎月第1・3土曜日 13:00～ 毎月第2・4火曜日 10:00～	2つのボランティアグループが運営しており、おもちゃの貸出しや安全点検などの活動を行っています。

★魅力・スタッフの思いなど

(運営についての共通理解)

- ☆楽しみながら子どもの心や体が育って欲しいという願いを込め、親子が楽しく触れ合えるよう体験活動をたくさん設定しています。親子のスキンシップや、親同士の交流をはじめ色々な体験を通して豊かな心が育って欲しいと考えています。
- ☆利用者が気兼ねなく相談できる関係をつくり、個々の親子への支援や情報提供などに応じること。また、利用者同士の関わりあいや、地域の様々な人たちの交流を促すように働きかけること。親子が共に成長するための学びの機会を広げていきたいです。
- ☆利用者をつなげておくことなく、誰にとっても身近な相談相手であり理解者であるように努めること。また、利用者同士の支え合いを促すとともに、世代や立場を超えた様々な人たちの協力を得て、みんなで子育て家庭を支える環境づくりを行うこと。
- ☆親子に備わる「成長する力」を信じ、とくに親が子どもや子育てに向き合う余裕を重視しています。成長を阻む要因の解決に努め、様々な活動を通して刺激や学びを得られる機会を創り出し、親子の力を引き出すように働きかけていくこと。子どもの健やかな成長を願っています。
- ☆広場の利用時間を午前・午後に分けずに運営しているため、お弁当持参で訪れる親子が多く、天気の良い日は利用者同士で誘い合って近隣の公園に出かけるなど、ランチタイムでの楽しい親子交流も魅力の一つになっています。

(情報発信)

☆月刊プログラムを写真入りのフルカラーで印刷して、当館で配布するのはもちろんのこと市子育て支援課のポストなどに置いて来館を呼び掛けています。

★課題・展望

- ・必要な方に必要なサービスをお届けできるよう、さらに尽力したいです。
- ・子育て相談を実施する中で、「この相談がお母さん方の課題に対する真の解決に繋がっているか」ということを、常に考えながら取り組みたいです。

★利用者の声

- ・子育てが不安でしたが、同年代の親子と一緒に過ごす中で楽な気持ちになりました。
- ・子育てを助けてもらえる友達ができました。
- ・初めての中津ですが、色々わかり助かりました。





～広場と公園が一体化された親子のくつろぎスペース～ 桜っ子広場



活動内容

○開所日・時間

月～土の9時30分から16時まで
(休み) 火曜日は福祉センター休館日の為閉所
祝祭日及び年末年始

○開所時間内随時

- ・子育て中の親子や祖父母との交流など
- ・子育て相談受付

○毎1木曜日実施の行事

第1木曜日 リトミック 第2木曜日 英語で遊ぼう
第3木曜日 手話で遊ぼう 第4木曜日 絵本の読み聞かせ

※いずれも10時30分より各講師による指導(ホール・会議室にて)

運営：中津市役所子育て支援課

住所：〒871-0021

中津市沖代町1丁目1番11号

電話番号：子育て支援課

0979-22-1129

中津市教育福祉センター

0979-24-4294

開設年月日：2007年1月

スタッフ：常勤2人(保育士)



★最も力を入れている事

広場利用のお母さん方は、転勤などで中津市にいられた方が多く、核家族や若いお母さん方もいます。初めての土地での初めての子育てに、不安や戸惑いもあるようです。

広場では、スタッフとの挨拶から始まります。子どもの様子をきっかけに周りのお母さん方も話が弾み、いつしか友達になっています。広場を離れた後も、子どもを中心にお母さん達で関わりをもって、情報交換等を行っているようです。

広場内は夏は涼しく、冬は床暖房のやさしい温もりの中、子どもらしい遊びや生活をゆっくり見守ったり、きちんと相手したり、その時期ならではの関わりをしています。

また、異年齢の子どもたちとの関わりも生まれ、泣いたり笑ったりしている様子を見守るお母さん方は、子育ての楽しさ・おもしろさを満喫しているようです。

子どもたちにとって、少し上のお兄ちゃんやお姉ちゃんの姿はまさに憧れて、目追う姿に成長しようとする本来の姿が見え、スタッフの方が勉強させられます。

利用者の中には地元のおじいちゃん・おばあちゃんもおり、孫だけでなく他の子にも優しい言葉をかけたりと、分け隔て無く広場の子どもとして一緒に育んでくれているようです。

又、土曜日はお父さんの来所も増えてきています。広場でしか経験できないままごと遊びに参加したり、絵本の読み聞かせなどもしています。また、歩けるようになった子どもたちは、広場から公園の方へ目が行き、外遊びを要求します。そんな子どもの思いに寄り添いながら子どもに一日しっかりかかっているようです。

親と子ばかりでなく「地域みんなで育ち合い」ができていくように思われます。

★利用者又スタッフの声

利用者の方がまず発する言葉は「きれいですね」。施設環境に対する感想ですが利用が増えてくると「離乳会食」や「晩ごはん」など身近な生活の話も出ます。

また、帰る際には子どもたちから「バイバイ」だけでなく、お母さん方からも「ありがとうございました」とか「また来ます」等の言葉をいただいています。

これからも家庭以外の育ちの場として、大いに利用していただきたいと思えます。

★課題・展望

木曜日の行事内容については、親子で一緒に楽しむ「リトミック」、年長の子どもが楽しめる「英語」、お母さん方が楽しみにしている「手話」、誰でも楽しめる「絵本」と、内容を選んで参加していただいています。参加している子どもたちは1、2年で保育所などの集団生活へと移行していくこともあり、開所以来同様の行事を行っています。対象年齢によって指導者が提案する遊びは異なりますが、より一層楽しめる内容を模索していきたいと思っています。又、父親の育児参加が増えていくことで、お父さんの力が発揮できるものがあると、また違った姿が見えてくるのではないかと感じています。



～親も子どもも楽しく集い元気がもらえる広場に～ 竹田っ子すこやか広場



毎月実施行事

活動	開催日時	内容
おやつの日(調理)	第3火曜日 AM10:30～11:30	小さい子どもも安心して食べられ、安全で簡単なおやつを作る
親子ピクス(体操)	第2、第4水曜日 AM10:30～11:30	親子一緒に楽しいリズムののって体操する
ちくちくの日(手芸)	月1回 AM10:30～11:30	各自が作りたい物を考え、それにあつた材料を用意し、講師の先生に教わりながら作る/ステンシルを使ってエコバックを作る
その他の行事		防犯訓練を実施/図書館司書による絵本の読み聞かせ/クリスマス会(フルートの生演奏/スタッフによる楽器演奏)

※その他 親自主導サークルの拠点となっており、月2回(第2・第4木曜日)竹田っ子すこやか広場内で活動している

運営：特定非営利活動法人 夢苞

住所：〒878-0023

竹田市君ヶ園1158番地3(竹田市立南部幼稚園内)

TEL：080-5277-4045

FAX：0974-63-1104

URL：<http://carenet.biz/44/yumetuto/>

開設年月日：2006年2月6日

スタッフ：常勤2名(保育士1名)・非常勤4名



★最も力を入れている事

「竹田っ子すこやか広場」では、屋根のある公園として気軽に親子で利用していただきたいという発想のもと運営をしています。ここは竹田市立南部幼稚園内に併設されており、幼稚園児が使用しない時は園庭で自由に遊べます。部屋にはたくさんの絵本や玩具を用意し、親子で自由に遊べる雰囲気作りを心掛けています。また、育児書や情報誌なども常備し、お母さん達に自由に読んでいただいたり、貸出しを行ったりしています。お母さん達のリクエストを聞いて準備することもあります。

自由遊びのほか、毎月各種イベントを実施しています。専門の講師を迎え親子で体操する親子ピクス・手軽に出来るおやつ作り・小物などを作るちくちく(裁縫)の日などがあり、お母さん達に好評です。

この広場がお母さん達にとってほっとする場・時間であってほしい、子ども達に優しく接することができるよう、リフレッシュする場であってほしいとスタッフは考えています。コーヒータイムもその一環で、コーヒーを飲みながらお母さん同士がリラックスし、自然に日頃の様子や子育ての情報・悩みなどを話す場にもなっています。

また、お母さん同士が繋がりを持つための一つの手段として、利用者の了解を得て、写真と名前入りのファイルを作り、自由に見られるようにしています。

「スタッフは利用者と同じ立場で思いを受け留められる存在、一緒にそばにいる伴走者である」という気持ちを忘れず、これからも子ども同士、親同士、親良く笑顔で集っていただき、お互いの良いところを自分の子育てに生かし、元気をもらえる広場にしていきたいと考えています。

★利用者の声

- ・一人で悩まなくてよくなった。
- ・友達が増えた。
- ・イライラしなくなった。
- ・姑との関係が少し良くなった。
- ・家族に対して優しく接する事ができるようになった。

★課題・展望

外に出られないお母さん、ひとりで悩んでいるお母さんへの働きかけが、大きな課題です。スタッフ1人1人が幅広い情報を持ち、多様な参加者を受け入れることができる力をつけることが必要と感じています。

参加人数だけを追うのではなく、参加者が広場に来ることによって地域の子育てを考える一人になり、その方からまた次の方へと、子育てに対する温かなまなざしが広がってくれる事を願っています。



暖かい雰囲気」作りをモットーに親子で「ホッ」と出来る場所・・・!! 日田市丸の内子育て支援センター(フレンズ)



年間行事

※行事内容は、変更する場合がございますが、あらかじめご了承ください。

はる

- ・お散歩遠足
- ・こいのぼり製作
- ・母の日DAY
- ・交通安全教室
- ・観光祭芸能隊出場
- ・芋苗植え
- ・はみがき指導
- ・親子ふれあいあそび

なつ

- ・七夕製作
- ・リズム遊び
- ・プール遊び
- ・プール遠足
- ・フィンガーペインティング
- ・夕涼み会



あき

- ・手振り
- ・運動会
- ・敬老の日施設訪問
- ・敬老の日のプレゼント製作
- ・バス遠足
- ・消防署見学
- ・Donald来園
- ・お散歩遠足
- ・クッキング
- ・芋煮会
- ・講演会

ふゆ

- ・クリスマス製作
- ・クッキング
- ・クリスマス会
- ・かすたネット音楽隊参加
- ・年賀状作り
- ・七草粥食べ
- ・鬼のお面製作
- ・節分
- ・雛めぐり
- ・おひなさま製作
- ・お別れパーティー



活動	開催日時	内容
わんぱくルーム 園庭解放	月・水・木 9:00~12:00 火・金 13:00~15:30 9:30~12:00 13:30~16:00	無料で自由に遊べる場所です！オモチャも絵本もたくさん用意しています。裏にはプールもありますよ！
お弁当の日	毎週月曜日 12:00~13:00	わんぱくルームを開放してお弁当を食べます。
身体測定の日	毎週第2火曜日	お子様の身長と体重を測定します。
保育園児とのふれあい		園児とふれあいます
びよびよルーム	第3火曜日	1歳未満児赤ちゃんDAY
子育て相談	月~金 10:00~17:00 ※電話で受付	子育てをする中で困ったことやどうしたらいいかわからないことなど気軽に相談してください。
子育て相談	毎週第4水曜日 11:00~12:00	子ども発達支援センターの小袋先生が専門家の立場から相談にのってくださいます。
絵本の貸出	一週間以内の返却	1人1冊の絵本を貸出しています。
ティールーム		ティールームを開放しています。コーヒー・紅茶をご用意しています。



★最も力を入れている事

丸の内保育園に隣接する丸の内子育て支援センター「フレンズ」は、夏は日田祇園、晩秋は天領まつりで賑う豆田町から徒歩5分、北側には花月川が流れ、季節毎に菜の花やコスモスが、散歩やジョギングする人たちの目を楽しませてくれる、歴史と自然が調和する風情ある一角にあります。

開設6年目となる「フレンズ」は、地元の日田杉を基調に、家具やテーブル、おもちゃなども木にこだわった、暖かな雰囲気のある施設で、毎日約10組の親子が訪れます。「親子でホッとできる場所」作りに力を入れ、室内に「ホッとタイムスペース」を設け、いつも家事・育児に忙しいママが、ゆっくりお茶を飲んだり、雑誌を広げたりできる空間を提供し、ママ達に喜ばれています。

また室内には、粘土・お絵かき遊び、ままごと、絵本などの、コーナーを設定することで、親子が集中し落ち着いて遊べたり、赤ちゃんも安心して遊べるような工夫をしています。

スタッフは、子育て経験のある保育士2名が常駐し、ママ達の悩みや相談を受けるとともに、健康面の相談には看護師が直接応じるなど、楽しく安心して子育てができるようサポートをしています。行事の一つとして、新米ママや、同じくらいの月齢の赤ちゃんを持つママを対象に、月一回、1才未満の赤ちゃんを対象とした「びよびよルーム」を開催しており、ママや赤ちゃんの心と身体の健康をサポートします。

地域活動としては、地区社協と協働して、月一回「子育てサロン」に積極的に参加し、交流を深めています。

さらに、ママだけでなく、パパにも子育ての楽しさを知ってもらう為に、パパのための子育て講演会やパパクッキングなど、パパ力をアップさせる活動も積極的に行っています。

子育ての原点は家庭、それはママの笑顔から。もう一つ忘れてはならないのが、「いつもありがとう」と、ママを支えるパパの存在。夫婦が支えあい、子育てする中で、子ども達が健やかに育つ為のお手伝いをさせていただくのが「フレンズ」の役割であると考えています。

★課題・展望

今年度「フレンズ」では、利用者のお母さんを講師に、手芸教室を行いました。手作りのかわいい小物を見た他のお母さん方からの「私も作ってみたい」という声に応え、快く引き受けてくださいました。この様に利用者の方々の「やりたい」という気持ちを広げることが、お母さん同士のつながりになりますし、センター以外の活動の場が広がるような働きかけを行っていきたくと思っています。

また「待つ支援」から「届ける支援」に、市の保健師さんと連携して、今後の課題として取り組んでいきたいと思ひます。「フレンズ」がたんぼの綿毛のように、色んな場所で「輪」という花を咲かせていきたいと思ひます。



★利用者の声

- ・四月に引っ越してきたばかりなので、私たち親子にとってセンターは色んな方と知り合え、色んな事を学べる場所となりそうです。
- ・いつも子どもと一緒にいると「成長しているのかな」と思うことがあるのですが、色んな行事に参加させて頂き、出来なかった事が出来たりするととっても嬉しくなります。
- ・小さな事で悩まず、おおらかな気持ちで、子どもと共に成長していきたいと思ひます。これからも利用させていただきまます。





～わくわく伸び伸び・チャレンジいっぱい！子育ては一人じゃないよ！！～

日田市ひのくま子育て支援センター



運営：社会福祉法人地の場会
日田市ひのくま子育て支援センター
住所：〒877-0073 日田市日ノ隈町183-2
電話：0973-22-7565
FAX：0973-22-7565
E-mail：kosodate-hinokuma@gold.ocn.ne.jp
開設年月日：2002年4月1日
拠点の人員配置：2人



★利用者の声

親子クッキングでは、「不思議ですね。自分で作った料理ならパクパク食べます」「アイデア1つで親子でこんなに楽しく料理ができて、大人の私も楽しくなります」「イベントメニューもこんなに簡単に楽しくできるなら家でも作ってみます」とお母さん達からとても好評です。実際、家で作って旦那さんに「すごい！」と言われて「またクッキングに参加します」と嬉しい声も聞かれます。

試食会では、「普段思いつかないような味付け方法を教えてもらい大変参考になります」「栄養士さんの話を聞くのが為になり毎回参加しています」と嬉しい言葉を頂いています。

これからも、お母さん方の声を大切にしながら、親子でワクワク・ドキドキできる支援センター作りをしていきたいと思っています。

活動	曜日	時間	内容
プレイルーム	月・火・水・木・金	9:30～12:30 13:30～15:30	親子で自由に過ごせる場所です。プレイルームと園庭を開放しています。好きなおもちゃで遊んだり、母親同士の会話が弾みます。
子育て相談	月～土	9:00～17:00	電話・園庭で、子育ての相談や離乳食の相談に保育士・栄養士が応じます。
専門家相談	第2金	9:00～16:00	子ども発達支援センター「銀河」の専門員による専門相談です。子育て全般、発育や発達、母親の心のケアまで、あらゆる分野に対応します。
園児とのふれあい	第3木	10:00～11:00	同じ年齢のクラスに入り、保育園児と一緒に過ごします。遊びを覚えたり、保育士のかかわりの姿を見て子育ての参考にしたりできます
子育て広場	月1回	10:00～11:30	こいのぼり製作・母の日・父の日・敬老の日のプレゼント作り、七夕飾り、クリスマス製作、節分のお面作りおひな様製作など、季節の行事にちなんだものを親子で楽しみながら作ります。
親子クッキング	第3火	10:00～12:00	「親子食育クッキング」です。親子で料理を作りを楽しむ中で、栄養のバランスを考えたり、食べ物への感謝の心を育てます。
おしゃべりクラブ	第2火	11:00～12:00	家庭から持ち寄ったおやつを食べながらおしゃべりを楽しみます。
プレママクラブ	第3水	13:30～15:00	これからママになる方とまだ1歳にならない赤ちゃんのためにゆっくりとした時間を過ごしていただく。
親子エクササイズ	第4水	10:30～11:30	体操のお兄さんと一緒に親子で楽しくリズム遊び・体育遊びをします。
ランチデー	月1回	11:00～12:00	家庭から持ってきた手作り弁当を持って近くの公園に出かけたりし、ランチタイムを楽しみます。
リトミック	第1金	11:15～12:00	音楽の楽しさや音楽を通じた子育ての方法を専門講師の指導を受け楽しく学びます。
試食会	第3水	11:15～12:00	保育園児が食べている食事の試食を行い、栄養士・調理師が質問に応じます。離乳食やアレルギー食にも対応します。
うたとお話し会	第1月	11:00～11:30	親子で童謡を歌ったりスタッフによる紙芝居や絵本の読み聞かせを行います。
ツイズクラブ	その月の最終日	13:30～15:00	双子・三つ子をもつ母親同士が集まり、双子・三つ子ならではの話ができる、リラックスした時間を過ごすことができます。
協力園とのふれあい	第4木	10:00～11:30	市内保育園（14施設）を開放し、それぞれの園へ自由に遊びに行ける日です。
スクラップブック	第3月	13:30～15:00	専門講師の指導を受け、思い出の写真を素敵にアートします。



★最も力を入れている事

スタッフがいつも心がけている事は、笑顔・元気です。初めて来た方が不安な思いをしないよう、スタッフが声を掛け楽しい雰囲気作りを行っています。プレイルームに併設している保育園では園庭を毎日開放しており、常に園児とふれ合うことができます。

毎月の行事で一番人気なのは、園長先生による親子クッキングです。食育の一貫として、季節に応じた旬の物をおいしく食べられるよう工夫しています。

4月は春キャベツを使ったロールキャベツと苺ジャム、6月はぶどうジュースのあじさいゼリー・じゃが芋コロケとバナナ、ロールケーキでかたつむり作り、なすの雨を降らせた「梅雨のランチプレート」、8月はイカ飯、10月は、ハロウィンメニューでジャックのクッキーと丸ごとかぼちゃのグラタン、12月は本格的にスポンジを焼き、苺と生クリームでクリスマスケーキを作りました。子ども達もこの日は、大きなスポンジにクリームを塗ったり、飾りつけをしてケーキ作りを楽しみました。夏にはそうめん流し、秋には6月に植えたさつま芋を収穫し、そのお芋で12月に焼き芋をしたり、季節の風情を「食」を通し感じる取り組みも大切にしています。

また世代間交流としては、更生保護女性の会「ひまわり会」の方に年5回来て頂き、梅干し漬けや月見団子作りをしたり、昔ながらの遊びを教えてもらっています。12月は地区の老人会・婦人会の方と一緒にもちつきをします。こういう取組はお母さん方から、「楽しかったです」「また来年もしてください」などの声が聞かれ嬉しく思います。

子育ての情報交換をしたり、お母さん同士・子ども同士の友達作りの場としての「おしゃべりクラブ」は、お母さん達のお話につきないほど、初めての方も常連の方も楽しいひとときを過ごしているようです。

私達スタッフは、色々な取組の中で、誰もがゆっくりと時間を過ごせるように、気軽に遊びに来れるように、そして子育てを仲間と共に楽しんでいけるように、温かい雰囲気センター作りを目指しています。

★課題・展望

一番の課題は、子育て支援センターの存在を知らなかったり、知っていても足を運ばずに家庭で孤立している親子のサポートです。育児に悩みお母さんに安心して過ごせる場所であることを知らせ、利用していただきたいという思いから、市内の子育て支援施設のスタッフでつくる「かすたネット」を通して、毎月、各施設間で地域の子育て支援情報の交換を行っています。

今後は、保健師さんも加わり活動を共にしていく予定です。7か月検診時にスタッフが外向いて絵本の読み聞かせを行ったり、近くの産婦人科院長さんに月に一度ベビーマッサージや講話をしてもらう等の取組を行っています。

センターにみえるお母さん方にスタッフが声かけをしたり、母親同士が悩みを共有できる場を提供するなど、安心して一緒に子育てできる環境作りを心がけています。



～屋根のある公園～

日田市チャイルドプラザ



運営：日田市
住所：〒877-0013
日田市元町13-20
TEL：0973-25-5300
FAX：0973-25-5300
開設年月日：2007年10月1日
スタッフ：3名



★課題・展望

利用者の方には、喜んで利用してもらっていますが、新しい方が定着しない点が課題です。初めて利用した方に声かけしたり、施設の行事や内容等がわかりやすいように写真を提示したりして努力しています。開設して2年なので、市民にまだよく知られていないのが現状です。長い間利用している方は、友達もでき、グループで各支援センターの行事巡りをしているようです。この方たちが、支援を受けるだけでなく、母親サークルのようなもう一歩違った進んだグループになれないものかと思っています。

★最も力を入れている事

チャイルドプラザは、日田駅に近く、周りに大きな商業施設があるなど、市民にとって利用しやすい場所にあります。事業としては、親子の交流の場の提供、促進、相談、情報提供、短時間託児等を行っています。短時間託児においては、最近多くなっている核家族のお母さん方から「大変助かる」と好評です。施設やスタッフに慣れてから預かる場合と、急に預かる場合とがありますが、できるだけ子どもの負担にならないように援助しています。

また、部屋がワンルームの為、子どもによく目が届きます。初めての方や、友達づくりに来ている方に、橋渡しをしたり、行事への参加を呼びかけたりして、次のステップへと繋げています。

利用者の方からも、スタッフがいいつも側にいて声をかけやすいとの話がありました。それに、子どもと密に触れ合えるため、成長の様子や子育てで悩んでいる事等が利用者の方と共有でき、喜んだり、相談、アドバイスがとてもしやすいです。お子さんが小さい時から継続して利用されている方とは、成長を共に喜べる事に、幸せを感じます。

他に、行事も楽しめるように内容を工夫しています。親子で楽しめるもの、子どもに楽しんでもらうもの、子育ての参考にしてもらうもの等があり、それぞれスタッフが案を出し合って工夫しています。楽しみにしている利用者の方も多くなり、その事もスタッフの励みになっているところです。

活動	開催日	内容
ベビーデイ	毎月第2・4水曜日	ベビーマッサージをしたり、離乳食や病気についてのミニ講和・リズム遊び・利用者の交流
ベタベタの日	毎月第3水曜日	簡単な製作を親子で楽しむ
お誕生会	毎月最終木曜日	その月の誕生者を祝い、職員のアトラクションを楽しむ
作って遊ぼう	毎月第1水曜日	簡単な素材で遊べる物（おもちゃ）づくり
ウキウキシアター	毎月第2水曜日	パネルシアター、人形劇、ペープサート等でお話
親子体操の日	毎月第3水曜日	体操のお兄さんとの親子体操を楽しむ
身体測定	毎月第4水曜日	身長、体重、胸囲の測定
語ろうデイ	毎月第1水曜日	利用者同士の交流



～みんなあつまれ！気軽にほっとな場所～

蒲江ふれあい広場



活動	開催日	内容
音楽リズム	毎週水曜日	紙芝居・読み聞かせ・手遊び・リズム体操を親子で楽しみます。
リトミック	第2火曜日	講師の先生と一緒に音楽遊びや体を動かしたりします。
親子HOTおやつ作り	毎週木曜日	親子で楽しくおやつ作りをします。
親子エアロビクス	第1.3金曜日	親子で楽しく体を動かします。
乳幼児救急法	年1回	消防署の職員の方から救急法の指導を受けます。
NP講座	年1回	子育てを楽しむための講座（6回連続完全託児あり）
季節のイベント・制作		クリスマス会・ひなまつり会 クリスマスツリー作り・ひな様制作等
親子料理教室		地区の食生活推進協議会の方との料理作り
親子ミニ運動会	年1回	親子で楽しむ競技・お母さんのストレス解消の綱引きなどもあります
子育て相談	月～土随時	子育て・家庭の相談
子育てサロン	毎月第4土曜日	子育てサロン（エンゼル）の支援

運営：佐伯市社会福祉協議会蒲江支部 蒲江児童館
住所：〒876-2401
佐伯市蒲江大字蒲江浦5101番地25
TEL/FAX：0972-42-1620
開設年月日：2002年4月1日
スタッフ：3人



★課題・展望

蒲江では、地理的な要因もあり、子どものいる家庭が各地区少なくなっています。子ども同士、親同士が交流できる機会が少ないため、できるだけ多くの方が広場に来ていただき、交流を深めていただくことが課題です。

★利用者の声 ～NP（ノーバディーズ・パーフェクト）講座に参加して～

今まで自分一人で悩んでいた事をみんなに聞いてもらう事は、自分のプラスになるし、ストレスも無くなり、子どもに対してすくよくよ優しく穏やかに接することが出来るようになりました。話をできるママ友も出来て子育てが楽しくなりました。

★最も力を入れている事

ここ蒲江ふれあい広場は、佐伯市社会福祉協議会が市から委託を受け、児童館の中で運営しています。佐伯市社協の特色である地域との繋がりを活かし、様々な人との交流や体験が出来る場、あるいは親子同士の交流の場づくりを目的に色々な企画に取り組んでいます。

お母さん方が来てみたいと思えるような雰囲気作りを日々心がけ、ほっと出来る場所と職員の笑顔でお待ちしています。

一人でやって来る親子が多いので安心して過ごせたり、子どもやお母さんがスムーズにみんなの中に入れるよう考えながらサポートしたいと思っています。

また、色々な相談にも対処できるよう、各関係機関とも連携を図っています。困ったときの蒲江ふれあい広場となるよう、親子で楽しい場所、お母さんのストレス解消の場所、ほっと出来る場所を目指していきたいです。



～笑顔が広がる子育て・親育ちの場「やよいっこハウス」～ 佐伯市弥生地域子育て支援センター



運営：特定非営利活動法人 子ども未来ネット弥生
 住所：〒876-0112 大分県佐伯市弥生大字上小倉1210番地
 TEL/FAX：0972-46-2244
 E-mail：kodomomirai@saiki.tv URL：http://www.saiki.tv/~kodomomirai
 開設年月日：2005年4月1日
 スタッフ：常勤2名（保育士）

活動	開催日	内容	
「子育て親子の交流」	ここにこルーム	隔週火曜（月2～3回） 10:30～11:30	★在宅で子育てしている親子が集まって遊んでいます。スタッフも中に入り一緒に活動しています。
	ひよっこサークル	月1回 10:00～11:30	★1才未満のお子さんとその保護者が集まって「健康」「食」などのお話を聴いたり保健師による子育て相談をしています。
	びよびよ	月1回 10:30～11:30	★赤ちゃん（1才未満のお子さん）とその保護者が集まっておしゃべりしています。いつでも自由に参加できるのが魅力です。
	やよいんピック	年1回	★乳幼児の運動会（在宅で子育てされている家庭）
	園庭開放「らんらん」	月2回	★保育園の園庭や遊具で同年齢の子と遊んでいます。
談「子育て相」	子育て相談会	年3回 随時	★臨床心理士を招いての子育てに関する個別相談です。相談の間はスタッフがお子さんを託児しますのでゆっくりお話ができます。
	家庭訪問		★主任児童委員と一緒に赤ちゃん訪問をして顔見知りになります。
	NP講座		★子育てについての悩みを出し合いながらテーマに基づいて子育て力をつけていきます。母親クラブや主任児童委員に協力していただきながら託児をします。
「関連情報の提供」	月1回「スマイル」	★子育て関連情報（保健師・栄養士からも提供）を登録家庭に郵送	
子講習等支援	親子エアロビクス	月2回 随時 年数回	★心身共にリフレッシュを目的としたエアロビクスです。
	積み木教室		★和久洋三先生の積み木を使って自主性・創造性などを育てます。
	子育てワンポイント講座		★保健・食・遊びなどをテーマにした子育て講座です。
	指導者の為の研修会		★療育研修会・子育てコーチング・教材研究など。
「地域支援活動」	月1回以上	★近隣地域の子育てサロン等に出向き、遊びなどを提供。	



◆「また会いたいなあ」と思える場をつくること！を大切にしています。

初めてセンター来たお母さん方が期待で胸がワクワクしたり、「どんな人がいるのかなあ？」とドキドキしたりする気持ちに受けられるように「いらっしゃーい」の声かけと笑顔を大切にしています。そして、自分（親・祖父母等）の居場所をつくれるように毎回自己紹介をしています。話をすることでホッとできたり、「悩んでいるのは自分だけじゃないんだ」と感じたりすることが「また、来よう」という気持ちに繋がると思うからです。また、センターにはおばあちゃんも遊びにきてくれます。おしゃべりの中にも若いお母さん達が学ぶことがあり、自然と他の子どもも我が子同様に見守る姿勢が出来てくるところは、ステキだなあと感じています。

◆童具共育としての「積み木」をつかって・・・

童具デザイナーの和久洋三さんの積み木が、3,800 個余りあります。これを使って、遊びながら子どもたちの創造性や自主性を育てています。また、積み木を介して親子関係を見つめ直すこともできるので、支援する私達も寄り添いやすくなるという利点があり、とても大切なものになっています。

◆地域の人たちが作ってくれた！みんなで憩える屋外テラス

地域の人たちが手づくりの木製テーブルとイスを屋外テラスに設置してくれました。インコの籠も飾り、ペットボトルで作った風車や花々に囲まれています。こんな環境の中、親子でお弁当を食べたり、インコとおしゃべりしたり、風車を見たりと、ゆったり過ごすことができます。

◆子育て支援に関わるスタッフの支援

子育て支援に関わるスタッフも色々な悩みを抱えています。一人で抱え込まず悩みを共有し、より良い子育て支援へ繋げて行けるよう研修会（療育、子育てコーチング、教材研究等）を企画、実施しています。

◆スタッフの思い・・・

子育て中の方々にとって、スタッフは指導者ではなく近所の「お世話やきさん」のような存在でありたいと思っています。気軽に立ち寄り、話ができるような憩いの場を提供するとともに、子育て力を身に付けていただけるような支援を目指していきます。

★課題・展望

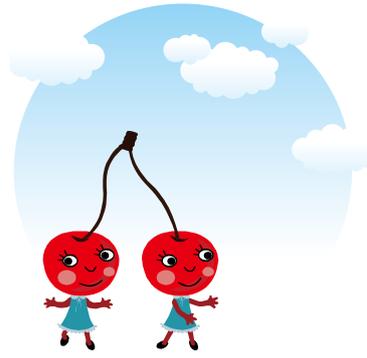
- ◎活動中、スタッフがつい手を出しすぎてしまうことがあります。親がお客さんで終わらないように「今、何の手助けが必要なのか」をお互い考え、協力し合える関係づくりを続けていきたいと思っています。
- ◎田舎に住んでいながら、今自然の中での遊びが少なくなっているように思っています。近くの土手や川等で動植物を見たり触れたりする機会を増やしていきたいと思っています。
- ◎センターの活動に参加したことがない親子が一步踏み出せるような取組と周知（訪問活動）を保健師や主任児童委員の方達と協力しながら進めていきたいと思っています。

★利用者の声

スタッフとお話できたり、広いところでゆっくり過ごせたり、出会った親子と一緒に遊ぶようになったりすることが嬉しいです。また自宅以外で気兼ねなくお出かけできる場所があって良かったです。



～「ここ来るとホッとできるね」とみんながくつろげる空間～ 佐伯市上浦育児支援サービス『さくらんぼルーム』



運営：社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会
上浦支部 育児支援サービス

住所：〒879-2601
佐伯市上浦大字浅海井浦489番地10
ふれあいプラザ内

TEL：0972-32-5021

FAX：0972-32-2472（地域福祉センター内）

Eメール：sashakyo-yoshiki-s8@sashakyo.or.jp

URL：http://www.sashakyo.or.jp/index.html

開設年月日：2002年8月20日

スタッフ：非常勤2名(子育て支援員)

行事	開催日時等	内容等
(1) 定期行事		
ふわぼか・親子活動	月1回 10:00～12:00	親子で活動
キッズピクス・親子でエアロビ	月1回 10:30～11:30	インストラクターとともに親子でエアロビ
HOTホット広場・ママが主役	月1回 10:00～12:00	子どもから離れて、お母さんだけの活動
絵本の読み聞かせとおしゃべり会	月1回 10:00～12:00	ボランティアの読み聞かせ
えいごの広場	月1回 10:30～11:30	ボランティアの英語遊び
親子ふれあい教室	2ヶ月に1回 10:00～12:00	上浦在住の入園2年前のお子さんを持つ親子対象
ハッピー誕生会	3ヶ月1回 10:30～11:30	誕生月の子のお祝い
(2) 子育て等に関する相談、援助		
相談は随時	月～土 8:30～17:00	子育て支援員が相談を受けます
乳幼児の一時預かり(有料)	月～土 8:30～17:00	年1回の登録と、前日までの予約
さくらんぼルームの開放	月～土、 10:00～15:00	親子で自由に利用できます
絵本、かみしばい、育児書の貸し出し	月～土、 10:00～15:00	1週間の貸し出し
(3) 情報の提供		
さくらんぼ新聞を発行	月1回	毎月の行事日程のお知らせ
児童館・児童クラブとの情報交換	月1回	各部署の職員情報交換会
(4) 講習会等		
クロナコヤマト交通安全教室	年1回、 13:30～14:30	ボランティアで劇をしながら交通指導
上浦幼稚園児との交流会	年1回、 10:00～12:00	幼稚園児と乳幼児の読み聞かせや劇鑑賞
乳幼児救急法	年1回、 10:00～12:00	消防署職員による指導
積み木、モザイク、ピース流し	各年1回、 10:00～12:00	専門講師を招いての道具遊び
デイサービス(高齢者)との交流会	年2回、 10:00～12:00	手振りや七夕飾り作り
リトミック	年1回、 10:00～12:00	専門講師の音楽を通じての指導
陶芸教室	年1回、 10:00～12:00	整った陶芸設備の中で専門講師の指導
保健師・栄養士の指導	年3回、 10:00～12:00	はみがき教室、ヘルシークッキング、食育講座



★最も力を入れている事

上浦育児支援サービスでは、子育て中のお母さんが、楽しくゆとりを持って子育て出来るように、また、PTA等学校行事や研修会、通院、祖父母等の看病、冠婚葬祭等お子さんを連れて行けない用事の際に、お子さんをお預かりする一時託児のサービスを行っています。

託児を利用することによって、お母さん自身リフレッシュすることができ、「今まで以上に、子どもに優しく接することができるようになった」という声をたくさん聞きます。(託児：有料・日数、時間制限あり・前日までの予約厳守)

託児室「さくらんぼルーム」は、一日中日当たりが良く、また、公園に隣接して外遊びのみのびびできます。

また、月～土曜日(祝日を除く、10:00～15:00)は一般の親子に開放しており、水曜日はコーヒーのセルフサービスも行なっています。

「さくらんぼルーム」は、お友達と待ち合わせをして遊んだり、日常の情報交換をしたり、また、初めて出会う親子との、お友達作りの場にもなっています。

また、施設内(ふれあいプラザ)にはトレーニングルームがあり、産後のケアやリフレッシュ等のために利用されています。

当施設は、児童館や高齢者のデイサービス施設が同じ敷地内にあり、合同の七夕祭りや芋ほり、クリスマス会等、世代を超えた幅広い交流を行なっています。また、行政、幼稚園とも協力して、乳幼児のはみがき教室や地元の人形劇団「つくしんぼ」の観劇会における託児など、地域の子育てをバックアップしています。

気軽にしゃべりしながらも、お母さん達が子育てについてどのように考えているか、どのような事を求めているのかを知り、活動に反映させることで、地域の子育て支援拠点として、お母さん方と一緒に成長していきたいと思えます。

親子の笑顔がたくさん見ることの出来る、みんなが心温まる、「また来たいね」と思えるような場所でありたいと思えます。

★課題・展望

母親だけでなく、父親や祖父母の方々も気軽に、また子育ての意識を持って『さくらんぼルーム』に来たり、行事に参加できるようにしていきたいです。

具体的には、普段利用されている方々に、家族の子育ての参加の様子などを聞き、母親だけでなく誰もが参加しやすい行事などを検討したいと思います。

昨今、父親対象の講演会も増えているのですが、父親が自ら進んで足を運んでもらうにはどうしたらいいのか、課題もあります。

平日は父親や祖父母の方々の参加はなかなか望めませんが、お仕事がお休みの日などに子どもと一緒にちょっと立ち寄りたり、2、3人のお父さんが子どもを遊ばせつつ、世間話ができるような環境作りもしていきたいです。

また、上浦育児支援サービスにおける活動を子育て中の方々にできるだけ多く知っていただき、利用してもらえるよう、アピールしていきます。

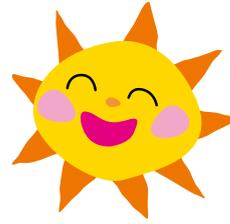
★利用者の声

いつも利用させていただいて、大変助かっています。子どもを預かってくれる場所があるということは、母親にとってとてもありがたいことです。

いつでも家族のように温かく迎えてくれ、子育ての疲れを癒してくれ、またママ達とふれ合えることで、子どもの成長について語り合えるので、とても為になります。



～ママや子どもたちにとってホッとくつろげるひだまりのような場所～ 子育て支援ひろばおひさま



運営：社会福祉法人 大日寺福祉会 大日保育園
住所：〒876-0013 佐伯市若宮町1-32
TEL：0972-22-2424
FAX：0972-22-3799
開設年月日：2008年6月
スタッフ：2名(保育士)



活動内容

- (1)基本実施日 月・水・金 9:30～14:30
- (2)月に1回ランチDAY(保育園の給食を200円払って食べることができる)
- (3)毎回ピアノにあわせて季節にあった歌を歌ったり手あそびなどを行っている
- (4)季節にあった製作
- (5)外部から講師を招いた活動

活動内容の一例です

毎週金曜日はお弁当
食品の扱いにご注意下さい

10月の予定表		
★ 毎月、第一月曜日は身体測定	★ 子育て相談受付	
★ 保育園児・保育士によるミニ交流会		
月 9:30～14:30	水 9:30～14:30	金 9:30～14:30
5日 身体測定	7日 かぼちゃランタン作り	2日 自由あそび
12日 体育の日	14日 応援グッズ作り	9日 ひだまりカフェ
19日 リズムあそび	21日 でんでん太鼓作り②	16日 散歩
26日 応援グッズ作り	28日 合同運動会(米水津)	23日 応援グッズ作り
		30日 ランチDAY 10月誕生会



★最も力を入れている事

「安心して子どもと一緒に遊ぶ場所がない」「近くに同年齢の子どもがいない」

「引越してきたばかりでママ友達がいない」「家に子どもと2人きりで息が詰まりそう」

こんな切実な思いを抱えたママ達がたくさんいるという現実を踏まえ、少しでも力になればという思いで活動を行っています。

子どもを通じてママ達が集まり、笑ったり悩んだりしながら子どもの成長を互いに喜びあう、そんな仲間づくりを目指しています。

毎回ピアノに合わせて季節の歌を唄ったり、手遊びしたりする活動を取り入れています。これにより、家庭に帰ってからも親子や夫婦のコミュニケーションに役立ててもらえればよいと考えています。

みんなで和気あいあいと季節の製作や活動を楽しみ、時には外部講師を招いてのコンサートやベビーマッサージ等、家庭ではなかなか経験できない活動を取り入れています。そして、月一回の「お楽しみランチ DAY」は200円で保育園の給食を食べていただける人気の催し。野菜が苦手な子どもも保育園の給食だとよく食べるという喜びの声をたくさんいただいています。レシピや調理時のちょっとしたコツを伝授するなど、保育園併設の利点を生かした活動を行っています。

勇気が必要かもしれませんが、家から一歩外に出るだけで、そこには新しい風が吹いているはず。子どもとママの笑顔が増えることを願って活動を行っています。

★課題・展望

平成21年度から鶴見・米水津地区において「出張ひろば」を開始しました。

たくさんのママ達が参加し、ここでも仲間づくりの手伝いをさせていただいています。

今後の課題としては、まだまだ家の中に閉じこもっているであろう親子を把握し、働きかけを行っていくことです。

また、すでに利用されているママたちが互いに教え合い、繋がっていく空間づくりに力を入れていきたいと考えています。

★利用者の声

開所当初からずっと通って約2年。保育園と同じような環境の中、季節ごとの歌、手遊び、製作など家では体験できないことを学ばせてもらっています。

子ども同士のけんかもありますがそれもまたいい経験。それに息子にも私にもたくさん友達ができました。そんなママ同士での会話が今の私の唯一の楽しみとなっています。

子育ての悩みも先生に聞いてもらい第2子妊娠中の荒れた心が救われました。今ではなくてはならない親子の楽しみの場です。

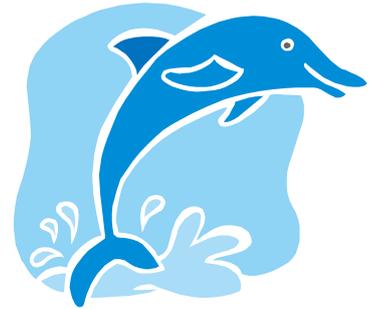




～親子でゆっくり・ゆったり子育てしませんか?～ みなと保育園子育てひろば いるか



運営：社会福祉法人 佐伯民生福祉会
みなと保育園
住所：〒876-0811
大分県佐伯市鶴谷町1丁目5番15号
TEL：0972-22-5399
FAX：0972-22-5336
開設年月日：2007年11月1日
スタッフ：常勤2人(保育士)



活動内容

ひろば開催日 毎週火・水・金 9:00～14:00
その他 園庭は毎日開放 10:00～11:00
15:00～16:30
ランチタイム 11:45～12:30
☆昼食をお持ちの方は食事できます。

毎月の催し：身体計測・誕生会・リトミック・手作りおもちゃ・簡単クッキング・季節の行事・など

- ※ 活動内容は 毎月発行する機関誌にてお知らせしています。
- ※ 佐伯市役所子育て支援課、佐伯市保健福祉総合センター和楽、佐伯児童館などにおいています。

★最も力を入れている事

佐伯湾に掛かる大きな“日の出橋”のふもとに位置する、みなと保育園内に“子育てひろば・いるか”があります。最初に登録いただくと、後はいつでもご利用いただけます。玄関に入ってすぐ左の部屋にご自由にお入りください。

いるかの春から夏にかけての活動は、園庭中心となり、可動式の遮光ネットの下で涼しく遊ぶことができます。また、沐浴からプール遊びまで年齢に応じていろいろ楽しむことができます。常勤の保育士2名と、ひろばに集まるお母さんたちと日頃の育児の話をしながら共に情報交換をしています。そんな中で、見ず知らずのお母さんたちがいろんな悩みを皆で話し合いながら、それぞれに解決して自信を持って育児をしていく姿を何度も見ながら、ひろばの役割ややり甲斐を感じています。

ひろばに来るこどもたちは、初めはお母さんから離れられずにいますが、何度か通って来る内に、園児の遊ぶ姿に刺激され真似して遊んだり、食事や排泄の様子を見ていろいろ学んでいるようです。そんな中でお母さんたちはよく食育の悩みを話されているようですが、先輩ママのアドバイス等で、その子なりの食育法を見つけているようです。

月の催しには、時には園児と共に参加する行事や、いるかみみの催しがありますが、それにとらわれずお母さんと子どもが一番にくつろいでもらうことをテーマにしています。

ゆっくり、ゆったりしていただければ幸いです。“いるかひろば”が、お母さんや子どもたちの安住の場所になればと願っています。

★課題：0, 1, 2 歳児の利用が多く、それ以上の児童の利用が少なくなっています。建物のスペース等の問題もありますが、どのような工夫をすれば 3 歳児以上の利用も見込めるのかを考えていきたいです。

★展望：保育所内にある支援室ということで、保育園児とのふれあいや異年齢の子ども達との交流を深めていきたいと思っています。

★利用者の声

- ・ 時節に合わせた色々な催しものあって、親も子どもも楽しめます。
- ・ 同じくらいの子どもを持つ親と知り合いになれば、お昼ご飯も一緒に食べたりして、仲良くなれます。いかに通い始めたことによって、子どもがあまり人見知りをしなくなったように思います。
- ・ 先生方もアットホームな雰囲気の良いと思います。育児のアドバイスをいただけるので、助かっています。



～楽しく遊んで、ともだちつくろう!!～ 姫島村子育て支援センター「たんぽぽ」



★活動内容

- 講演会(年1回)子育て講話
- 講話(月1回程度)保健師・歯科衛生士による保健や歯科に関する講話
- 出前保育(月1回程度)
- 「読み聞かせの会(ひだまりの会)との交流」読み聞かせや絵本の紹介など
- 「婦人会との交流」おやつ作りやエコたわし作りなど
- 「1・6・3歳児健診」子育て講座・遊びの教室
- 夕涼み会(7月)
- 運動会ごっこ(10月)
- いも堀り遠足(11月)
- ミニミニ遠足「フェリー広場や運動公園で遊ぼう・アサギマダラ観賞など」
- 誕生会
- その他

運営：姫島村
住所：〒872-1501
東国東郡姫島村 2065 番地の 1
TEL：0978-87-2049
FAX：0978-87-3629(姫島村役場)
E-mail：hoikushi@himeshima.jp
開設年月日：2007年4月1日
スタッフ：常勤2名(保育士)





みんなで楽しく子育てしよう！～笑顔あふれる温かな地域づくりを目指して～ 子育て支援センター「キッズハウス・ワイワイ」



運営：社会福祉法人
こどもの未来を創る会 白梅保育園
住所：〒879-2473
津久見市徳浦宮町5-14

TEL：0972-82-2780 FAX：0972-82-2780
URL：http://www.shiraume-hoikuen.jp
開設年月日：2000年10月1日
スタッフ：2人



活動	開催日	内容
子育て相談	月 13:00～16:00	電話や、面談にて子育てに関する相談に応じます。 (火、金の活動日にも相談に応じます。)
園庭開放	月～金 9:00～14:00	保育園の園庭で自由に親子で遊びを楽しみます。
親子で遊ぼう！	毎週火、金 10:00～11:30	リズム遊び、製作遊び、運動遊び、ゲーム遊び、ふれあい遊び、新聞遊び 積み木遊び、散歩、プール遊び(夏季)などを親子で楽しめます。
乳児さん あつまれ！	毎月1回 10:00～11:30	0～12ヶ月の乳児さんを対象に、ベビーマッサージ、ふれあい遊びなどを 楽しめます。お茶を飲みながらの、おしゃべりタイムも好評です。
シアター上演	火、お誕生会	手作りのパネルシアター、カップシアター、手袋シアターなど上演しています。
絵本の読み聞かせ	火・金	スタッフによる絵本の読み聞かせをしています。
お誕生会	毎月1回	みんなでお誕生会を楽しみます。手作りのプレゼントも好評です。
身体測定	毎月1回	身長、体重の測定をし、成長の記録をカードに記入します。
季節の行事	年5回	保育園の夕涼み会・運動会に参加、ピクニック、クリスマス会
体操教室	年4回	講師の先生の指導により、親子で体操教室を楽しみます。
リトミック教室	年4回	講師の先生の指導により、親子でリトミックを楽しみます。
子育て交流	年2回	津久見子育てパークに参加し、市内の親子(未就園児)と交流します。
中学生との交流	年1回	吹奏楽部の演奏会を鑑賞したり、一緒にゲームを楽しみます。
消防署見学	年1回	消防車、救急車に乗ったり、放水の体験をします。
子育て講座	年5回	保健師、栄養士さんのお話(健康、食育)と子育て相談、助産師さんのお話 (ベビーマッサージ、子育て相談)、救急救命士さんのお話(救急法)★託児あり
リフレッシュ講座	年4回	ヨガ、フラワーアレンジメント★託児あり

★最も力を入れている事・最も魅力だと感じること・スタッフの思いなど

- ワイワイの部屋に入ると、お母さん達の第一声は、「かわいい！」です。月毎に変わるかわいらしく、楽しい壁いっぱいの壁面。また、カントリーな家具(テーブル、椅子、棚)や人形、小物などで統一し、温かい雰囲気でご過ごせるようにしました。
- 「温かく、笑顔で迎えること」「利用者の立場・気持ちになって寄り添うこと」を大切にし、親子との信頼関係を深めてきました。また、「すべての親子との関わりを大切にしたい」という思いから、「手作り」することにこだわり、おたより・お部屋の環境構成・シアター・お誕生会のペンダント・フォトフレームは手作りで工夫したものを作り、みなさんに喜ばれました。
- 親子で楽しめる遊びの場を作り、スタッフが提供する、製作遊び・リズム遊び・運動遊び・ゲーム遊びなど、家庭ではできない様々な遊びを経験することにより、親子の関わりを積極的に作り出す機会を提供しました。子ども達は、大喜びで、お母さん達は、笑顔でいっぱいでした。講師の先生をお招きしてのリトミック教室・体操教室も好評で、親子で楽しめました。
- 「子育てをつらいと感じたとき、どんな感情を抱きますか。」という問いに答えた意見が一番多かったのが、「息抜きしたり、リフレッシュする時間が欲しい。」でした。お母さん達の声に応え、お母さんだけで活動する「子育て講座」や「リフレッシュ講座」を開催しました。子どもと離れて過ごすことにより、リフレッシュし、活動終了後は新たな気持ちで子どもと向き合えるようになり、親子の時間をより豊かにしていました。
- 活動後も、一緒にお弁当を食べたり、園庭で遊んだり、おしゃべりを楽しんだり...と良い交流の時間となっていました。ワイワイでの交流を通して、「子どもが参加しているのを見ると、すごく嬉しい。」「他の子の成長が見れた。」「気分転換し、リフレッシュして育児ができた。」「心にゆとりができた。」「友達ができた。」というお母さんが多く、お互い支え合う姿も見られました。安心して、ゆったりと過ごせる場所を提供し、親子がふれあい交流することで、それぞれの親子が持つ育つ力・育てる力をのばすことができる拠点を、そして、たくさんの人と関わりながら、安心して笑顔で、楽しく子育てができる温かな地域づくりを目指してきました。

★利用者の声

ワイワイに参加させていただき、親子で成長することができたように感じています。先生方が、工夫を凝らした遊びを通して子どもの新しい面を発見できたり、子ども以上にいろいろなことを学ぶことができました。また、多くのお友達もでき、充実した時間を過ごせるようになりました。楽しく子育てをする憩いの場を提供してくれた先生方に感謝しています。





～たくさんの人たちと交流しながら、“子育てを楽しむ”ひろばを目指して～

豊後高田市 つどいの広場「花っこルーム」



運営：子育て支援スタッフ「アンジュ・ママン」
住所：〒879-0604
大分県豊後高田市美和1335-1
健康交流センター花いろ内
TEL：080-5252-8725
開設年月日：2004年6月
スタッフ：非常勤スタッフ（12名）
ママさんスタッフ（4名）
ボランティアスタッフ（6名）

*花っこルームは、子どもの生活リズムにあうように、自由に来て自由に帰る「セカンドハウス」「室内公園」的な感覚をモットーとしており、基本はノンプログラムですが、スタッフや利用者、地域の方々の資格や特技を生かした行事や活動も行っていきます

- 開催日時：月・水・金・土 (9:00～16:00)
- 休館：火・木・日祝日・年末年始 (12/29～翌年1/3)
- ※平成22年度より、月～土(9:00～16:00)の開催予定(日祝日、年末年始は休館)

活動	開催日	時間	内容
出張ひろば	月4回	10:00～12:00	真玉、香々地への出張(ふれあい遊び・ノンプログラム)
親子ふれあい交流行事	月2回	10:30～11:30	季節の行事やプレマ講座、おしゃべりルームなど実施
読み聞かせ	月2回	13:30～13:45	小さなお子さんでも大丈夫なように手遊び、体遊びを実施
英語であそぼ!	月2回	10:30～10:45	英語の歌や読み聞かせ、手遊び、カード遊びなどを実施
パパとあそぼ	月1回	10:30～11:30	クッキングや運動遊びなどパパも参加しやすいよう工夫
コーディネーター相談日	月1回	10:00～12:00 14:00～16:00	子育て・家庭の相談、行政からの情報提供
世代間交流	年3回	10:30～11:30	ハーブ講座、押し花講座、ハーモニカ演奏などを実施
リフレッシュ講座	年3回	10:30～11:30	アロマや手芸、着付けなどママ向け講座(託児あり)



★特徴・魅力

「おはよう！今日はお天気がいいね」そんな温かな“声かけ”から始まる「花っこルーム」。

平成16年から3年間、市が運営してきましたが、利用者であったママさん達が集まり、子育て支援スタッフ「アンジュ・ママン」を結成、平成19年度より市から運営を受託しています。「アンジュ」は天使、「ママン」はお母さん、子どもが天使なのはもちろんのこと、かわいい天使のお母さんたちが、たくさんの人たちと交流しやすいように、優しい、和やかな雰囲気作りをお手伝いしたい、という想いからスタッフ全員でつきました。

スタッフ全員が子育て中、そして、いち利用者ということもあり、悩みや不安はもちろんのこと、子どもたちの成長も共に共感し合える、そんな「利用者の目線」で活動できることが特徴だと思います。

「花っこルーム」は、それぞれの子どもたちの生活リズムに合うように、ノンプログラムが基本ですが、遊びに来るきっかけになればと、「親子ふれあい遊び」を実施しています。家ではなかなかできないボール遊びや運動会ごっこ、日本の伝統行事である七夕、豆まきなどを行っています。またパパも遊びに来やすいように、「パパとあそぼ」と銘打って、父親の育児参加について積極的に声かけしています。また、「花っこルーム」は色々な方と交流する場ということもあり、「世代間交流」にも取り組んでいます。主任児童委員をはじめ、子育てベテランの方たちが、ボランティアスタッフとして顔を出してくれます。なんと心強いアドバイザーで、有難い存在です。年に1度の「ハーモニカ演奏会」は心がほっとなごむ人気の講座です。

また、ママたちの声を反映し、「リフレッシュ講座」も始めました。1時間と短い時間ですが、託児があるので、興味があることに集中できると大好評でした。利用者に講師をお願いすることもあります。緊張しながらも達成感を感じられている様子に、スタッフも嬉しく感じます。

同施設内には市の子育て・健康推進課があり、行政との連携を図りやすいという利点もあります。様々な情報をリアルタイムで教えてもらうことができますし、保健師が常駐されていますので、利用者からの質問にもすぐに対応していただくことができ、育児不安の解消にとっても助かっています。

ルーム内ではスタッフ以外に、利用者のママさん達がボランティアスタッフ(ママさんスタッフ)となって、親子に声をかけてくれたり、スタッフと共に“広場の雰囲気作り”を行って来ています。

このように、たくさんの協力、みんなで“子育てを楽しもう”という想いが詰まった「手作りの広場」であることが一番の魅力です。

★課題・展望

- ・ボランティアスタッフ(ママさんスタッフ)の養成
- ・花っこルームをより多くの方に知ってもらえるよう、積極的な情報発信と交流の促進、そしてネットワークの充実
- ・行政との連携をより一層図り、妊婦の頃から親子を見守り続けられる体制の強化
- ・自主サークルへの支援
- ・アウトリーチ的な活動(子育ての孤立化を阻止)
- ・世代間交流の充実(小・中・高校生などの学生や高齢者との関わりを積極的に図り、お互いの存在の大切さを学ぶなど)

★スタッフの声

利用者である私たちが「花っこルームに恩返ししたい！」という想いで子育て支援スタッフ「アンジュ・ママン」を結成して3年。今後はさらに市民のみなさんに親しまれ、愛され、信頼されるよう、そして子育て支援の拠点となるように、法人格取得に向けて取り組んでいます。キャッチフレーズは「あ・うんの気持ちで子育てを」。生まれ育ったこの町、私の里に建立された仁王像のまるで語り合っているような雰囲気、「阿(あ)・吽(うん)の呼吸」のように、お互いの呼吸を感じ、お互いの感情を合わせながら、また、利用者の目線を大切に、行政と市民との架け橋になれるよう今後も活動していきたいと思えます。



～のびのびあそぼう！～

杵築市子育て支援センター cha♥cha



運営：社会福祉法人中央福祉会（中央保育園）
 住所：〒873-0002 杵築市大字南杵築 972
 TEL：0978-62-3366
 FAX：0978-62-3772
 E-mail：chuou-shien@ever.ocn.ne.jp
 開設年月日：2001年7月
 スタッフ：常勤1名（保育士）・非常勤1名（保育士）

年間行事・活動

- 春： ひいなめぐり・歯科講習・交通安全講習
- 夏： 七夕・プール遊び・夕涼み会参加・応急救護講習
- 秋： 運動会ごっこ・お散歩・どんぐり拾い
- 冬： クリスマス会・お別れ遠足

（お誕生会は2ヶ月に1回、リトミック、クッキング、身体計測は毎月行っています。）

その他： 積み木講習・ボール遊び講習・各種製作活動・保育園との交流・バス遠足等

開催日時：月曜日～金曜日 10:00～15:00



★最も力を入れている事

○園長より

核家族化をはじめ様々な社会環境の変化から、孤立しがちな「家庭で子育てをしているお母さん方」が集まって気軽に相談でき、学びあうことで子育てに安心と自信が持てる、ここに来れば誰かに会える、子ども同士・親同士そして保育士との楽しい交流の場になって欲しいとの思いで取り組んでいます。

○杵築といえば “お茶”

転勤族が多く、孤独な育児になりがちなママたちが、「お茶」を飲むようなそんな気軽な感覚で来られる所・・・
「お茶」を飲んだ後のようなホッとする感覚の場所だから、「日本チャチャチャ」のように、子育てママを応援する意味で・・・
「チャチャチャ」は子どもでも発音しやすく、可愛い！こんな理由で cha♥cha になりました。

○子どもは遊びの中で学んでいる（遊びの大切さ）

遊びを通して、子ども達は心身共に多くの事を体験し学んでいます。「積み木は積むもの」などといった大人の常識を押し付けしないで下さい。自由に遊ばせることで子どもは「発見するおもしろさ」を知ります。

○家の中はおもちゃがいっぱい

今は子どもの発達に合わせたおもちゃがたくさん売られていますが、新たに購入しなくても、お家にある新聞紙やペットボトル、空き缶、野菜の切れ端などがあれば、子どもと十分楽しく遊ぶことができます。遊びに大事なことは、ただ、おもちゃを与えることではありません。遊ぶ時間を一緒に共有し、楽しさや驚きを感じる、親子で向き合うことの方がはるかに重要なのです。

○リトミック

子ども達のためのリトミックとは、情操教育、音感教育、知育教育の基礎能力（集中力、思考力、判断力、記憶力、想像力、表現力）を養うことで、自主性、積極性をさらに養い、健全な心を育てます。「生きる力に」つながる大切な要素です。

★課題・展望

家庭で子育て中のお母さんが望んでいることはなんだろう？・・・親子で気軽に遊びに行ける場所であり、子育ての悩み等を気軽に相談したり、同じ母親としての立場から先輩として助言したり、相談に応じられるような場所でありたいです。

またもう1つの課題は、センターに来れずに家庭で一人子育てに悩んでいるお母さんに対して、どのように支援したらよいかを保健師さんと密に連絡を取りながら、取り組んでいきたいと思えます。



★利用者の声

- ・大勢の人がいると、お母さんから離れず遊びませんでしたが、センターに来るようになって、段々と自由に遊べるようになって来て良かったです。
- ・園庭もセンターも広々としていて開放的、子どもが自由に遊べるので良いです。
- ・大型トランポリンが大好きです。
- ・転勤が決まった時、子どもをどこで遊ばせたら良いかわからず、転勤先になる杵築の支援センターをインターネットでずっと見ていたので、転勤前から安心できました。杵築に来てからずっと利用しています。



～根っこ育ち：生きる力を育てよう～

杵築市地域子育て支援センターどんぐり



運営：社会福祉法人浄願寺福祉会
 住所：〒873-0005 杵築市大字猪尾 1124
 電話：0978-62-2855（浄願寺保育園内）
 Fax：0978-62-2862
 E-mail：jouganji-hoikuen@bd.wakwak.com
 URL：jyouganji-hoikuen.jp/
 開設年月日：2005年4月1日
 スタッフ：常勤1名（保育士）・非常勤1名（保育士）



活動	開催日	内容
子育て相談	毎週月曜日	子育て・家庭の相談
サークル支援	事前申込制	どんぐりハウスの開放
出前保育	毎月1回	公園や公民館に出かけての活動
園庭開放	毎週火曜～土曜	保育園の園庭で遊ぶ
身体計測	毎月1回	身長・体重・胸囲の測定
読み聞かせ	毎月1回	ボランティアさん、スタッフによる
クッキング	毎月2回	おやつ1回・昼食1回
保育園児との交流会	毎月1回	保育園の同年齢の子どもたちと一緒に遊ぶ



★最も力を入れている事

子育て支援センターどんぐりは、市からの委託により平成17年4月にスタートしました。当初、保育園2階の子育て相談室を活動の場としていましたが、利用者の増加に伴い、現在は保育園の向かいにセンター（どんぐりハウス）を建て、活動しています。

自然に恵まれ、開放的でどこからでも自由に入出入りできたり、縁側から子どもたちが遊ぶ様子を見られるなど、とてもよい環境にあるどんぐりハウス。大きな木の下には、どんぐり専用の砂場があり、年間を通して子どもたちの絶好の遊び場になっています。何より、子どもたちにとって、太陽を浴び水や土などの自然と触れ合うことは、生きる力を培うことにつながります。

おいしいコーヒーを準備したり、保育園のおやつ（野菜の煮付け等）を試食して、利用者がほっとできる雰囲気や、親子でゆったりとできる時間をつくるよう心がけています。家庭ではなかなか野菜を食べない子ども、みんなと一緒に食べることで野菜嫌いが克服できたりと、子どもたちの小さな成長をみることができ、みんなで喜んでいます。さらに、初めて来た方が馴染めるよう、スタッフをはじめ先輩ママたちが気軽に声を掛け合っています。

毎月の活動の中で、月2回のクッキング（おやつ作り1回、昼食作り1回）はとても好評です。クッキングを通して親子の触れ合いを深めるとともに、旬の食材を使うなど季節に応じた料理を利用者に伝えていきたいと思っています。

少子化、核家族化が進む中、子育てを一人で抱え込まず、地域みんなで子育てを楽しめる拠点でありたいと願っています。

★課題・展望

支援センターに来られない親子のために、保健師さんと連携して個別に訪問したり、地域の公園や公民館に向いて保育サービスを提供することが必要です。まずは、情報源である保健師さんとの連携を深めるため、市が行う乳児健診等の時に保育のお手伝いをさせてもらいながら、信頼関係を築くとともに、支援センターのスタッフとして地域のお母さん方と顔見知りになりたいと考えています。また、利用者が主体的に活動していけるよう、リーダーの育成や利用者OBの活用を目指すとともに、利用者同士が繋がり深め、地域の子育て情報の発信源になってもらいたいと考えています。

★利用者の声

県外出身で、友だちもいない知らない土地での生活に不安を抱えつつ転動してきましたが、いざ杵築に来てみると、子育て支援がとても充実していて、特に「どんぐりハウス」では、親子でふれあい、普段の生活では体験できない芋ほり、餅つき、竹で作ったそうめん流し等、本当に楽しい体験をたくさんさせてもらっています。

友だちもたくさんでき、母親ならではの悩みを相談したり、ストレスを発散できたりと、このような場があることに本当に感謝しています。



～親子のやすらぎの場～

宇佐市子育て支援拠点事業 ちびっこステーション



★利用者の声

週4日は通い、ママ友達も増えました。以前は家ばかりうつうつとしていましたが、ちびっこステーションの存在を知ってからは、明るく楽しい毎日です。1歳4ヶ月の子供といきいきと遊び嬉しいことばかり。家で子育てに悩んでいるママ、サークル等に参加することを勧めます。

運営：正光保育園(NPO法人)

住所：〒872-0032

宇佐市大字江須賀2921-1

TEL/FAX：0978-38-4148

e-mail：center@seikou-hoikuen.hello-net.info

URL：http://www11.ocn.ne.jp/~seikouho/t-top.html

開設年月日：平成2002年7月1日

スタッフ：保育士2名 ボランティア1名

活動	開催日	内容
交流会	月・火・水 9:00～15:00	子どもと親の音楽あそび交流、季節の制作物づくり等
サークル活動	金 9:00～15:00	エプロンシアター大型絵本、楽器あそび、体あそび
絵本の読み聞かせ	火	月2回 読み聞かせのサークルの方により実施
親子リトミック	年3回	リトミック講師による体遊び
ファミリーコンサート	年3回	音楽療法士によるファミリーコンサート
英語で遊ぼう	年2回	英語講師によるうた・体遊び

★最も力を入れている事

初めて来所したお母さんが心細くないように、日頃の様子をスタッフが聞くことから始まります。保育園・幼稚園に通っていない子ども達が、初めて出会う集団生活の場として、季節の行事・うた・手遊びに取組み、集団生活への準備をしています。

また、お母さん同士仲良く交流できるよう、保育士が仲介役となり、お互い打ち解けあえるきっかけ作り(紹介やゲーム等)を大切にしています。



★課題・展望

より親子がくつろげる場の提供をしていき、母親のニーズに応え、活動をよりよくしていきたいと思えます。



～屋根のある公園～

宇佐市北部子育て支援拠点「めずらっ子クラブ」



★利用者の声

毎日子どもと家の中にいると気が滅入り、イライラし子どもに当たることもありました。支援の存在を知り通うことで、お友達も増え色々な情報を聞くこともでき、悩むことも少なくなりました。気分転換にもなり、お外で沢山遊んだことでお昼寝もすんなりしてくれるようになりました。

運営：社会福祉法人芽豆羅の里 芽豆羅保育園

住所：〒879-0316

大分県宇佐市大字下時枝555-1

TEL：0978-33-2667

FAX：0978-33-5606

E-mail：mezurahoikuen@heart.ocn.ne.jp

開所年月日：2007年7月17日

スタッフ：常勤2名

活動	開催日	内容
子育て親子交流 育児相談	火・木・土曜日 9:00～15:00	子育て親子の交流の場▼スタッフによる育児や家庭等の相談
内科検診 身体測定	毎月1回	保育園 園医 宗像医院 院長による無料内科検診と身体測定をします
園庭解放	火・木・土曜日 9:00～15:00	保育園の園庭を自由に遊び保育園児との触れあいもあります
絵本の読み聞かせ	火・木・土曜日 9:00～15:00	スタッフによる読み聞かせ(随時)
地域ボランティア との交流	毎月1回	季節の花を使用したアレンジメント 読み聞かせ・折り紙製作等交流を持ちます
親子鑑賞	年1回	人形劇鑑賞
ベビーマッサージ	年数回	親子の触れあい



★最も力を入れている事

子どもが誕生し、親となった時の喜びを、お父さんお母さんが、毎日子育てする中で忘れずにいられれば、子育ての悩み、心の動揺は随分、緩和されることでしょう。「めずらっ子クラブ」はこの様な気持ちを思い出してもらうため日々活動をしています。

「子育ては楽しい!でも思うようにならなくて・・・」という方に「めずらっ子クラブに来てみませんか?そして、同じ子育て仲間や子育ての専門家と話してみませんか?」と呼び掛けています。子育ては特別なことではありません。微笑んだり、ちょっと怒りっぽくなったり、ちょびりハッピーになったり、いろいろな思いが交差するのが子育てです。子育て仲間と共に時間を共有し、保育園の園児たちを目にすることで、安心し希望が湧いてくるような活動を職員は心がけています。センターに来る子どもたちと園児との交流を図るなど、保育園とセンターが一体となった子育て支援を行うことで、子育ての不安や悩みの解消につなげたいと考えています。心の支援ができる地域子育て支援拠点でありたいと思えます。

★課題・展望

地域や家庭で1日のほとんどを、子どもとお母さんとで過ごしている家庭の「ほっとステーション」でありたいと思えます。子育て支援拠点「めずらっ子クラブ」の活動がご利用者中心に広がってほしいと思えます。そのためには、クラブご利用のお母さん方が、プログラム活動の発案や地域交流を、継続展開できるような拠点を目指し、見守って行ければと考えます。





～多くの出会いや活動を通じて、大きな木となり、大きな実をつけ、子育てライフをエンジョイしよう!!～

宇佐市地域子育て支援拠点「親子ひろば 子うさ木」



運営：社会福祉法人 宇佐福祉会 宇佐保育園
 住所：〒872-0102 宇佐市大字南宇佐2562-3
 TEL：0978-37-3321 FAX：0978-37-3211
 E-mail：kousagi@usahoikuen.jp URL：http://www.usahoikuen.jp
 開所年月日：2009年5月1日 スタッフ：責任者1名・常勤2名



活動	開催日	内容
園庭開放 スタッフによる絵本の読み聞かせ	週1回	保育園と隣接しているので毎週月曜に遊具等で遊ぶことができます。保育園児との交流も図ることができます。また、スタッフによる絵本の読み聞かせをし、絵本に親しみをもつように取り組んでいます。
親子でEnjoy English!	月1回	講師に宇佐市在住の外国人White Chris氏に来ていただき、親子で体を動かしながら生の英語でコミュニケーションをとっています。英語の歌でリズムを取ったり、英語の絵本を読んだりと様々な活動をしています。
なかよしキャラバン	月1回	宇佐市のおはなしボランティア「なかよしキャラバン」による「絵本の読み聞かせ」。紙芝居や人形劇、ペープサート、ブラックシアターなど年齢や季節に合わせた内容を盛り沢山。
親子で運動あそび	2か月に1回	東教体育科学研究所の峯田英治先生を招いて、運動あそびを行っている。子どもにとって運動は全ての基礎。身近にあるタオルやボールなどを使って運動したり、親子のコミュニケーションにも役立つ講座で、毎回参加者には大変好評です。
ママカフェ♡	3か月に1回	落ち着いた雰囲気の中で子育てに関する情報交換や悩みを話し合える場を作っています。その間、近所に住むボランティアスタッフの方々が子供たちのお世話をしてくれます。子育て奮闘中にちょっと一息入れてみんなでワイワイお話しています。
季節の製作	月に1回	毎月、季節に応じた製作をしています。運動会の時期には旗作り、秋にはどんぐりや松ぼっくりでの粘土製作、クリスマス会前には帽子など親子で製作しています。
運動会 クリスマス会	適宜	運動会には室内で数個の親子競技を行います。クリスマス会ではスタッフがペープサートでクリスマスのお話をしたり、親子でプレゼント交換をします。
親子で簡単クッキング	適宜	保育園で採ってきたさつまいもを使ったスイートポテト作りなど簡単にできるお菓子作りをしています。2月には食生活改善推進員の方々と郷土料理作りを計画しています。



★最も力を入れている事

「親子ひろば 子うさ木」は宇佐神宮を目の前に、田や川に囲まれた自然豊かな環境に位置し、宇佐保育園を母体とするため保育園行事等と連携をとりながら子育てしやすい環境を構築しています。親がゆったりとした気持ちでいきいきと子供に関わっていけば、子供はのびのびと育っていきます。子供がのびのびと育てば、親も自分に自信が持て、ゆとりが生まれます。子育て親子が集い、親と子、またスタッフが手を取り合って共に成長していける広場を目指しています。

◇魅力1 子育て親子に必要な環境づくり

「親子ひろば 子うさ木」は子育て親子に必要な環境を整える「環境づくり」に力を入れています。広々としたオープンスペースの中に「ままごと」や「絵本」、「おもちゃ」のコーナーを設けるとともに、専用の砂場を設けるなど、子どもの欲求に応えられる環境を作っています。子どもは大きくなるにつれて親から離れ、子ども同士で大胆に遊びたくなっていくもの。保護者に見守られながら大きく育てほしいとの願いから環境に配慮した空間にしています。また、保護者にもゆったりとした気持ちで利用していただけるよう、授乳や食事のスペースを設けるなどの工夫も行っています。

◇魅力2 親子で楽しめるイベント

イベントも「親子でEnjoy English!!」やなかよしキャラバンさんの「絵本の読み聞かせ」など親子とも楽しめる内容を取り入れ、毎月、季節に合わせた製作や子育てに関する講座を開き、大変好評をいただいています。スタッフも「いつでも気軽に楽しく利用できるような明るい施設にしたいと考えており、また、子育てに関する悩みや不安などにも同じ保護者の立場から、少しでもお役に立てればと思っています。保護者の方が楽しみながら子育てができるようにお手伝いできればいいと考えています。

◇魅力3 ホームページ上でも閲覧できるおたより

子育て情報の提供にも気を配っています。「子うさ木だより」を毎月発行し、先月の活動内容と今月の予定表を掲載し、利用者が予定を立てやすいようにしています。その内容は、宇佐保育園のホームページ上でも見る事ができるようになり、パソコンがある方には大変便利だと思います。

★課題・展望

スタッフがさらに研修等に足を運び、歌遊びやリトミックなどを身につけ、スタッフ、子育て親子共に成長していくような場にしたいです。保護者の中にも、「やりたいことがあるけど、子育てに追われ時間が取れない。」という方もいます。そんな方が、自分の趣味を生きし、他の子育て親子に教えたり、一緒におこなったりしながら交流していけるような場になればいいと思います。また、近隣は過疎化が進むと同時に、子育て経験のあるおじいちゃん、おばあちゃん世代が増えています。そんな方々がボランティアスタッフとして生け花、手芸、料理等の趣味を生かしたり、子育てに関するアドバイスを送ったりできるような世代間交流がさらに図ればなと考えています。

平日の開所ということもありお父さんの利用がほとんどありません。世間では少しずつ父親の子育てへの関心が高まってきていますが、現状はまだまだだと思われま。お父さんが子育てに積極的に参加し、子育ては夫婦共同で行うものという考えがさらに浸透するように手を打っていかれたらと考えています。

★利用者・スタッフの声

- ・今まで外出するのも子連れで行くところも限られていたけど、子うさ木に来て、子供もはしゃいで遊んでいたのほっとしました。
- ・お部屋がきれいで、室内の遊び道具がたくさんあって遊べる場所がいいです。おもちゃも木のおもちゃが多く、ぬくもりがあっていいです。七夕の時に写真を撮ってもらったことがうれしかったみたいでいつも見えています。
- ・ママカフェでのママ達の話し合いでは、「トイレトレーニングがうまくできない。お風呂を嫌がる。食欲が旺盛になりどれくらいの量を食べさせればいいのか・・・」など悩みがでできます。子育てが初めてのお母さん方にとって分からないことが多いようです。「親子ひろば 子うさ木」での出会いやお話が悩みの解決につながればと思っています。



～さいた～♪さいた～♪えがおがさいた「ちゅうりっぷのひろば」～ 緒方子育て支援センター つどいの広場「ちゅうりっぷ」



運営：豊後大野市
住所：〒879-6643
豊後大野市緒方町
下自在157-1
TEL：0974-42-2454
FAX：0974-42-3349

開設年月日：2005年4月
スタッフ：常勤1名(保育士)
非常勤1名(補助員)

活動名：「緒方子育て支援センターつどいの広場 ちゅうりっぷ」

開催日時：開所時間9:00～14:00

月・火・木曜日～緒方保育園

水：金曜日～すこやかセンター



内容：広い園庭・広い保育室で保育士と親子と一緒に遊びます。

そしてみんなでお片付けをした後、歌、手遊び、リズム遊び、絵本や紙芝居の読み聞かせをして、終了となります。

〈遊びの内容〉季節の壁面づくり・手作りおもちゃで遊ぶ・

大型ボールプール・室内滑り台・室内乗用車・自転車・三輪車・散歩（近くの公園へ）・砂遊び・滑り台などの総合遊具・小麦粉粘土遊び・絵本貸出・絵本の読み聞かせ・手遊び・リズム遊び

〈毎月の行事〉遠足・町内の僻地保育園へ遊びに行く・誕生会

クッキング（おやつ作り）・身体計測・育児相談（保健師）・双子の会・避難訓練

〈季節の行事〉子どもの日楽しみ会・七夕作り・七夕楽しみ会・

プール・水遊び・運動会参加・手振り・クリスマス会・もちつき・節分・ひなまつり・親子たいそう・地蔵盆



12月 つどいのひろば ちゅうりっぷ No.9

緒方子育て支援センター
TEL 0974-42-2454

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

今月の行事

- 2日(水) みたごの会
- 7日(月) 誕生会
- 10日(木) クッキング
- 18日(金) 身体計測
- 24日(木) クリスマス楽しみ会
- 25日(金) 離乳相談

年末年始のお休みについて
12月28日(月)～1月6日(水)までお休みとなります。

〈おがあさんの声〉

支援センターに来るようになって、早寝早起きの習慣が付き、生活のリズムがよくなりました。また、お友だちと楽しくたくさん遊べるので嬉しいです。家でもお友だちのこともよく話しています。毎日支援センターに行くのが楽しみです。(Mちゃんのお母さんより)

いよいよ師走です。カレンダーも今年最後の1枚となりました。
先日は、毎月好評のクッキングが行われました。お芋割りで作ったお芋を使って「お芋のクレープ」を作りました。栄養士の先生と一緒に、お友だちもたくさんお手伝いしてくれました。ホイップクリームを載せたお芋やりんご、なし、キウイなどの果物をクレープの上において、上手に包んでくれました。また、途中でお芋の味見をしたりして、楽しくクッキングができました。味の方も大好評で「あっさりしていておいしい」との感想をいただきました。子どもたちも自分で作ったお芋の味は格別だったようで、ニコニコ笑顔でおいしそうに食べていました。お芋のおしゃれなおやつ『お芋クレープ』お家でも作ってみてくださいね。

7日(水) 誕生会 赤いメニュー
しょうがご飯 チキン南蛮 ブロッコリーのチーズ炒め
たらこスパゲティなめこ汁 ミニゼリー です
台紙ご希望の方は、4日(金)まで申し込みをお願いします。

★最も力を入れている事

保育園の広い園庭・保育室・ホールを自由に使い、思いっきり遊べます。

園児との交流や行事への参加もでき、また、週二回は「すこやかセンター」で園とは違う環境、遊具で遊ぶことができます。

親子のふれあい、子ども同士の関わり、保護者同士の情報交換がスムーズにいくように、また、楽しい雰囲気作りができるように、保育士(スタッフ)と一緒に関わりながら言葉がけや見守りを行っています。保護者の方もお互い声をかけあい、子どもたちを見守ってくれるので、安心して遊ぶことができます。

当センターでは、利用者相互の交流が深まり、子育てが楽しめるようなメニューをたくさん取り入れています。

毎月、遠足や町内のへき地保育園(上緒方・小富士・南部)に遊びに行っています。みんなで食べるお弁当はとてもおいしそうです。へき地保育園のお友達と色々な遊具で遊んだり、一緒におやつを食べたり…帰る時間になっても、「まだ遊ぶ～」と子どもたち…。

誕生会はカードを渡し、お祝いの出し物(エプロンシアター・ゲーム遊びなど)を楽しめます。会食も楽しみのようです。毎月好評なのがクッキング。簡単にでき栄養満点のおやつ作りを栄養士の先生と一緒に作っています。自分たちで作ったおやつは特別に美味しいようです。

タオルや牛乳パック、ドングリなどを使った手作りおもちゃも好評で、家でも作って遊んでいるという声が聞かれます。

また、月一回、子どもの様子や行事などの出来事、おもしろかったエピソード等をのせた「たより」を発行しています。特に「お母さんの声」というコーナーに関心をいただいているようです。

当センターではいつも、子どもや保護者の方々の笑顔があふれる、楽しい雰囲気の中で遊んでいます。

★課題・展望

- ・保健師が新生児訪問の際に当センターの「たより」を手渡したり、児童民生委員の方が声をかけてくれており、来所する親子が増えているが、さらに多くの方に利用してもらうよう周知を図りたいです。
- ・特別の事はしていないが、今後も引き続き、利用する方々がくつろげ、楽しめる場づくりに努めたいと思います。
- ・遊具の点検を行う等、安全確保も引き続き行っていきます。
- ・スタッフ間の連絡・相談を一層密にし、情報共有を図ってまいります。

★利用者の声

- ・家では、ずっとテレビを見たがったり、お菓子をしょっちゅう欲しがるので、親子で遊びに行ける場所があって、助かっています。
- ・先生の手遊びとお話が大好きなので、いつも楽しみに来ています。
- ・外遊びが思いっきりでき、安心して遊べます。ママはママ同士色々なお話ができ、息抜きできるのも魅力です。
- ・おやつづくりがとても参考になり、家庭でも手作りするようになりました。
- ・支援センターに来るようになって、早寝早起きになり、生活リズムがよくなりました。
- ・親子して人見知りですが、「ちゅうりっぷ」に通うことで、顔なじみの方が増えるので嬉しいです。



～「子育てホッとたいむ」犬飼子育て支援センター～

豊後大野市犬飼子育て支援センターゆうゆうキッズ



運営：豊後大野市
 住所：〒879-7305
 豊後大野市犬飼町田原1419番地
 TEL：097-578-0706
 FAX：097-578-0710
 E-mail：youyoukids@yahoo.co.jp
 スタッフ：センター長 1名
 常勤（保育士1名）
 非常勤（保育士1名）名



★利用者の声

- ・子どもはいつも支援センターに行くのを楽しみにしています。行事もたくさんあり、相談にものってもらえて先生方には感謝しています。色々有難うございます。
- ・毎日家の中でばかり遊んでいる中、この支援センターがあるおかげで友達とも遊べるし、外の遊具でも遊べて、子どもにとっても親にとっても気分転換になっています。これからも、子どものためにもずーっと遊びに来ます。
- ・子ども二人を連れて遊ばせるのは大変ですが、ここに来ると先生方が助けてくれるので、とても助かります。安心して遊ばせることが出来ます。保育園と同じ所なので、保育園でも遊べるし、行事にも参加できるのでとてもいいと思います。支援センターに、毎週来るのが親も子どもとも楽しみです。色々な事を体験させてもらえるので、子どもにとって良いと思います。
- ・近所に子どもがあまりいないので助かります。色々な友達と遊べるのでたくさん活用したいです。
- ・同年代の子どもと遊んだりふれあったり、また親同士でおしゃべりできたりして、親子ともに気分転換できる時間が過ごせてよいです。

活動	開催日時	内容
おしゃべり広場	毎月 第1 火曜日 11:00～11:30	・保健師による保健講話や身体計測・育児相談 ・歯科衛生士による歯科指導・歯科相談 ・栄養士による栄養指導や栄養相談・調理実習 ・保育士による育児相談 等 ※専門的な話が聞け、情報提供や相談等が身近に受けられます。
子育て広場	毎週1回（火曜日） 10:00～11:30	毎週行事を計画し、いろいろな遊びを親子で楽しんでいます。 （季節に応じた遊び、リズム遊び、誕生会、併設の保育園との交流 等）
ふたごの会	毎月 第3水曜日 10:00～12:00	双子とその家族が集まる「ふたごの会」を開催しています。 子育て情報の交換、先輩パパママからのアドバイス等楽しくお話ししましょう。
園庭開放	月・木曜日 9:30～11:30	併設園の園庭を開放しています。 保育園のお友達と一緒に遊んだり保育士からのアドバイスも聞けます。
オープンスペース	月～金曜日 9:30～12:00 13:00～16:00	親子・祖父母同伴で自由に過ごせる場所です。 好きなおもちゃで遊んだり、保護者同士の交流の場として、安心安全なスペースです。
子育て教室	年3～5回程度	講演会・研修会・NP講座・キッズピクニック・3B体操 等
面接・電話相談	月～金曜日 9:00～16:00	困っていることや、悩みを気軽に相談ください。
子育てサークルの育成・支援	希望日随時	地域で育児サークルを作りたい方、現在サークルで活動されている方、遊びの場や遊具の提供、遊びの指導など充実した活動のお手伝いをします。
その他	随 時	・併設保育園の見学や行事等へ参加できます。 ・本の貸し出しをします。 ・育児情報の提供をします。

★最も力を入れている

- ・「犬飼子育て支援センター ゆうゆうキッズ」は、子育てを楽しめる、親子ともに元気になれるスペースです。当センターを利用される方々が、ゆとりを持って、のびのびと子育てできるよう、応援しています。
- ・季節や行事に応じた遊びや、家ではなかなか経験できないような遊びを提案し楽しんでもらっています。特に、当センターが独自に行う「うんどうかいごっこ」は、保護者や祖父母、地域の方々の応援で盛り上がり大好評です。また、季節ごとに近くの公園や道の駅等にみんなで遠足に出かけ楽しい時間を過ごしています。保護者とともに子どもたちの成長を見守り、共感しながら、一人ひとりに寄り添った支援を心がけています。
- ・施設が新しく充実しています。天井が高く、スタンドグラスも施されており、開放感満点。日当たりもよく明るいので気持ちも明るくなります。室内外の遊具等も年齢層に応じて設けられているので安全に遊ぶことが出来ます。また、絵本がたくさんあり、貸出しも行っていきます。
- ・保育園と併設なので、園庭やプール等の施設が使用出来ます。同年代の友達と関わりが持てたり、園の行事等と一緒に参加して楽しむことが出来ます。
（ex. 芋ほり、焼き芋大会、だんご汁パーティ、もちつき大会、消防広場、観劇など）一緒に遊ぶ中で、保育士の声かけや対応を学ぶことも出来ます。
- ・気分がちよっと減っていても、帰りに「来てよかった」と思ってもらえるような「犬飼子育て支援センターゆうゆうキッズ」でありたいと思います。
- ・「ほっとできる空間づくり」「話しやすい雰囲気づくり」そして「笑顔いっぱいの子育て広場」を大切にしながら頑張っています。

★課題・展望

「子育て支援センター」への関心・理解が得られるようにはなってきましたが、まだまだたくさんの方ににご利用していただけるように、今まで以上に色々な場面での働きかけが必要だと考えています。

今までのネットワークを大切にしながら事業の見直しをしたり、新しいことに挑戦したり、ネットワークを広げたりと常にアクティブな活動を目指したいと思っています。

また、子育て支援の場に出これない親子へのサポート・・・アウトリーチに関しても、他の機関（保健師や子育てサポーター等）との連携をとりながら慎重に取り組んでいきたいと思っています。





～ホッと子育て応援します!!～

みえまち子育て支援センター “やしの実ひろば”



運営：社会福祉法人三重福祉会（豊後大野市委託事業）
 住所：〒879-7102 豊後大野市三重町浅瀬3316菅尾地域交流センター内
 TEL：080-1543-3003 0974-22-3003
 FAX：0974-22-6956
 E-mail：club-coconut.mksc@docomo.ne.jp n-mile@oregano.ocn.ne.jp
 URL：http://sugaohokuken.to/yashinomi/index.html
 開設年月日：2008年4月1日
 スタッフ：保育士 2名 補助員 1名

【開所日】月曜～金曜 【開所時間】午前9時～午後2時

日々の活動	季節の製作	季節のものを使った製作や、季節の行事にそった製作を行います。
	体位測定	毎月行います。健康講座と一緒にすることもあります。
	やしの実座談会	保護者の方の情報交換の場。 やしの実ひろばでこんなことをしたい!!などの要望をだしてもらいます。
	すぐお保育園にあそびに行こう!!	すぐお保育園の園庭解放。 保育園の園児や保育士と触れ合うことが出来ます。
	自由あそび	やしの実ひろばのおもちゃや、園庭の遊具を使って自由に遊びます。
	自主サークルの支援 (メイク教室など)	メイクのお仕事をされていた保護者の方が、メイクのアドバイスを行うサークルです。
季節の行事	チューリップ見学	緒方町の原尻の滝までやしの実ひろばバスに乗ってお出かけします。
	ミニミニ運動会	すぐお保育園園庭にてやしの実ひろば単独の運動会を行います。
	ピクニック	やしの実ひろばバスに乗ってお出かけします。
	サンタがやしの実ひろばにやってくる!!	サンタさんと仲間達がやしの実ひろばへプレゼントを持ってきます。 クリスマス会は保護者の方が率先して企画します。
	出張やしの実ひろば	住宅や公民館にて活動を行います。 年に3回出張します。



☆その他… 交通手段にお困りの方はやしの実ひろばバスも利用できます。(無料)
 すぐお児童クラブ(小学生)との交流。
 地域の祭りに参加。など。

★最も力を入れている事

みえまち子育て支援センター “やしの実ひろば” は「ホームスタート」の手法による家庭訪問型子育て支援(アウトリーチ)に力を入れています。
 1～2ヶ月の期間、週1回2時間程度、ホームビジター(実践的な養成講座を受講・修了したボランティア)が家庭へ伺います。おうちの方とお子さんと一緒に遊んだり、お買い物に行ったり、一緒に家事を行ったり、「子育てを楽しみたい」、「子育てについて一緒に考えて欲しい」そんな方の子育てのお手伝いを無料で行っています。ホームビジターの基本性格は“ピアサポーター”。専門家としてではなく、同じ親同士として関わることに意味があり、同じ立場同士の支えあいとなります。ヘルパーのように代わってやるのではなく、専門職のように指導するのではなく、「傾聴」と「協働」を行います。

【ホームスタートとは】

- ・目的…子育てスキルの総合的な訓練の協働、家庭の安定、孤立化防止・解消、子育て意欲の獲得、虐待やネグレクトの発生予防、詳細な安全チェック。
 - ・対象…子育て困難家庭、ひとり親家庭、一般家庭、保護が必要でない家庭も対象となり、ボランティアを要請した方であれば誰でも支援を受けることが可能。
 - ・担当者…ホームビジターを中心とした支援スタッフ。
 - ・滞在時間…1日2時間程度・週に1回を1～2ヶ月の期間で行う。
 - ・滞り場所…家庭の中。
 - ・ボランティアスタッフによる多様なサービスが可能であり、また、訪問後に、コーディネーター・ホームビジター・利用者で評価をシェアすることで利用者のニーズを明確にすることができる。現在までに12家庭がホームスタートを利用してきました。利用者からは
 - ☆子育て経験談を聞いて安心することが多かった。
 - ☆育児の負担が減って、子どもと遊ぶ時間が増えた。
 - ☆一人ずつ抱っこするなど一人ひとりに愛情を捧げた。
 - ☆他人が入ることによって子どもとの関係に変化が来た。
 - ☆知らない歌や話しかけ方など勉強になった。
 - ☆子どもにとってもよい刺激になった。
 - ☆一緒に遊んだり、困っていることや質問に答えてくれたり、会話をすることでストレス解消になった。
- などの嬉しい言葉をいただくことが出来ました。

★課題・展望

みえまち子育て支援センター “やしの実ひろば” も2008年4月に開所して以降、たくさんの方が利用されるようになりました。毎日にぎわい、おうちの方・子どもたちの笑顔溢れる場所になってきたように思います。今後、より充実した子育て支援を行うために私たちの “やしの実ひろば” に必要なことは、
 ☆利用目的をはっきりさせ、保護者と子どもたちのふれあいを大切にした「子育てを楽しめる環境づくり」。
 ☆子育てサークルの支援。
 ☆スタッフのスキルアップ。
 ☆ホームスタートという事業の周知・ホームビジターの確保 です。
 『家族・地域・みんなで子育てを楽しめる』、『ホッとできる場所』をこれからも目指していきたいと思えます。

★利用者の声

- ・とても利用しやすく、遊びに来るのが楽しみです。
- ・季節の製作など、家庭ではできないことができるので製作を楽しみにしています。
- ・みんなでバスに乗ってお出かけしたり、子どもも喜んでます。
- ・子どもにお友だちができました。
- ・母親になっても名前を呼んでくれるお友だちができました。



～地域のぬくもりのなかで～

おおの子育て支援センター 子育てひろば“ルンるん”



運営：社会福祉法人大野福祉会 大野ルンビニー保育園
 住所：〒879-6441
 大分県豊後大野市大野町田中2411-3
 TEL：0974-34-2725
 FAX：0974-34-2582
 E-mail：runbiny@violin.ocn.ne.jp
 開設年月日：2004年4月1日
 スタッフ：常勤保育士 2名 コーディネーター 1名

☆つどう時間や場所☆

曜日	時間	場所
月	11:00～14:00	大野ルンビニー保育園
	14:00～16:00	大野保健センター
火・水	9:00～14:00	大野ルンビニー保育園
木	9:00～12:00	大野保健センター
	12:00～14:00	大野ルンビニー保育園
金	10:00～12:00	朝地母子保健センター
	12:00～15:00	大野ルンビニー保育園

☆活動のメニュー☆

活動名	開催日	内容
育児相談	随時	電話相談・直接相談・関係機関紹介
いっしょにあそび (オープンスペース)	毎日	親子でいっぱい遊べる空間です。遊びや子育てを見たり、聞いたり、体験できる場です。
子育て休憩室	毎週月曜日	赤ちゃんやよちよち歩きのお子さんが安心して遊べる空間です。保健師による育児相談もあります。
身体計測	月1回	お子さんの成長を皆で喜びましょう。
ダンスフィットネス	月2回 (レッスン料 200円)	子育てでちょっと疲れた心と体をリフレッシュ！毎日、講師をお招きしています。
ふたごのつどい	毎月第4水曜日	ふたごちゃんの子育てについての情報交換の日です。
チャレンジ支援	随時	お子さんやお家の人が興味のあること、やってみたいことに挑戦するお手伝いをします。
園行事の公開 誕生会(月1回) 体育教室(毎週金曜日)	予約制 → 試食 200円 → 1時間 500円	お子さんと保護者、地域の方に園行事を公開します。 (運動会・誕生会・観劇・演奏会・親子コンサートなど)
園庭であそび (園庭開放)	毎日 9:30～11:00	園庭を開放しています。 保育園の子ども達と一緒に親子で遊びましょう。
ルンるんだより	月1回発行	子育て情報・行事紹介
子育てサポーター 養成	年1回 (養成講習会を実施)	人材を養成し、子育て家庭をサポートします。 子育て家庭と地域をつなぐお手伝いをします。
サポーター会議	月1回	情報交換・活動の打ち合わせ等

★子育てひろば“ルンるん”の魅力

子育てひろば“ルンるん”は、ホッとできる家庭的な空間を目指しています。スタッフは担当職員と本園実施の養成講座を受講した子育てサポーター(ボランティア)で構成されています。スタッフは常時、親子の様子を伝えあい、毎日、活動内容や相談内容を記録するなど、丁寧な関わりを心がけています。

利用は登録制でなく、いつでも来てくれた親子に、スタッフが言葉かけをし、気持ちよく迎え入れています。

毎日の活動内容はスタッフが提案するのではなく、お母さんや子どもたちの興味のあること、経験したいことに耳を傾けながら、アイデアを出し合うなど、親子が主体的に活動できるよう心がけています。時にはスタッフが驚かされるような遊びの発見があり、お母さん方一人一人の隠れた才能を引き出す場にもなっています。

月に一回はクッキングやベビーマッサージ、野外活動(川遊び、もみじがり等)を実施しています。なかでもクッキングは毎回好評です。メニューは親子とスタッフが相談して決めるのですが、梅のつけ方やおまんじゅうの作り方といった昔ながらの料理を子育てサポーターに習うといった点が魅力になっていると思います。

活動の拠点となる部屋は園舎の中心に位置し、支援センターを利用する親や子どもたち、スタッフは園の職員といつでも気軽に言葉を掛け合うという温かい雰囲気の中で活動しています。天気の良い日には園庭で保育園の園児と一緒に遊んだり、毎月の誕生会では園児と一緒に祝いをしています。お母さんたちは園児の様子や園児の思いに寄り添い保育している保育士等の姿を見ることで、子ども本来の姿や育ちを学び、我が子の成長を楽しみと思えるようになってきているように感じています。

★課題・展望

保育園が地域における子育て支援の核となるよう、市内の保健センターや地区の公民館等とも連携し、パワフルな活動を展開していきたいです。

また、ルンるんでは、まだ利用されていない親子を訪問したり、月1回発行の「子育て通信」を市内数か所に設置するなど周知を図っていますが、さらに、市や保健師、民生委員・児童委員が支援センターの利用を呼び掛けてくれており、今後も引き続き、連携を強化しながら、取組みを充実させていきたいです。

★利用者の声

☆お母さんたちの声から感じること

- ・「なるほど、そうなんだ…」「こんな風に我が子と接すればいいんだね。」「子どもってこれでいいんだね。」との声が聞かれるようになりました。
- ・お母さんの表情が明るくなることによって、子どももびのびと成長しています。

☆子育てサポーターの声

- ・支えるというより支えあっています。
- ・保育園という夢のような環境の中、お母さんや子どもたちから「ほくほくするような心の豊かさ」を与えてもらった気がします。
- ・一緒に絵本を読んだり、積木をしたり、散歩に行ったり…そんな関係の中で自分を飾ることのない雑談が出来たとき、色々な子育ての悩みも相談してもらえるようになりました。
- ・保育園の目指す子育て支援の意義を確認しあっています。親や子どもたちの気持ちに寄り添うことこそが「子育て支援」であり、「親支援」であると思います。





～子育てのオアシスつくしんぼで集いながら楽しい子育て～ 清川子育て支援センター つくしんぼ



運営：豊後大野市
住所：〒879-6903 豊後大野市清川町砂田
TEL：0974-35-2105
FAX：0974-35-2314
開設年月日：2003年4月15日
スタッフ：担当保育士 1名

★利用者の声

・清川の支援センターに通うようになって4年目になります。主人の仕事の関係で三重町にきたのですが、当時は三重にセンターがなく、あちこちと子どもが楽しく過ごせる場所を探し、ようやくたどりついた場所がここ、清川でした。広い畳に楽しそうな遊具、やさしい先生の笑顔。ここしかないと思いました。ここに来るお母さん方も素敵な方ばかりで、月に1度のランチやおやつ作りなど、横にある調理室でみんなと楽しみながらしています。子育ては楽しいけれど不安な事、イライラしてしまう事もあります。そんな時ここに来れば、相談出来る先生がいて、分かり合える仲間がいます。これからもこの場所がある事に感謝しながら子育てを頑張ります。

★最も力を入れている事

清川保健センターの和室は27畳あり窓が広く太陽の光がサンサンとあたります。毎日4、5組の母子が訪れますが、ゆったりとした余裕のある空間です。ホールも広く雨の日や炎天下の日など重宝しています。走ったり、かくれんぼしたり、階段を登り降りしたり、黒板にチョークで絵を描いたりしてのびのびと遊んでいます。

また隣の保育所内でも時間限定で遊ぶ事ができます。同年齢の子供の姿を見ながら、わが子を見直したり、保育所の先生の接し方や、子供同士の関係性が見られるなど保育所ならではの利点があります。お母さん方から、家庭生活での悩みを具体的に聞く事が多く、ママの気持ちに寄り添いながら、じっくり話を聞くようにしています。ママにとって子ども供にとっても居心地のいい場所でありたいと思っています。

またママ達同士悩み事や愚痴を言い合ったり、情報を交換したりと、仲よくしている姿はすばらしいです。料理や裁縫の得意な人は苦手な人に力を貸したり、育児の失敗をユーモラスに笑いに変えてストレス発散したり、自分の紹介で支援センターに初めてきた母子に他のママ達がやさしく接してくれた事に涙を流したり、いろんないい場面を見るたびに頭が下がる思いです。「子育てのオアシス つくしんぼ」のタイトルのように集う母子の癒しの場所であってほしいと願います。

活動例

- ・誕生カードを渡して、各々の子供の誕生日を祝う
- ・クッキング（月2回のおやつとランチ）
- ・遠足（春・夏）
- ・人形劇等の公演（年1回）
- ・エプロンシアター
- ・絵本の読み聞かせ等（ボランティア）
- ・市の保健師による育児相談、体位測定（月1回）
- ・保育所の行事や講演会への参加
- ・保育所体験（月1回）
- ・歯科衛生士による歯科指導
- ・季節の遊び、保育所の固定遊具での遊び（保育所の都合の良い時間のみ）



★課題・展望

利用者より「少しの間預かって欲しいなあ」との声があります。病院にいきたい、銀行に行きたい、美容院にも行きたい。ちょっと預けたい時支援センターで預かってあげたら少しづつ助かる事でしょう。そのために担当保育士1名を2名にすれば出来そうな気がします。地域にはまだまだ孤立した子育てにストレスをためている母子がいます。まだ参加した事のない方へは、今参加している方々に声をかけてもらったり保健師の訪問の時たよりを届けたりしています。より多くの人に利用してもらい子育てのオアシスとして魅力のあるセンターにする事が今後の課題だと思います。



～あそびがいっぱい ともだちいっぱい～ ひばり保育園由布市庄内子育て支援センター



運営：社会福祉法人愛の園福祉会
ひばり保育園(児童館型)
住所：〒879-5421 由布市庄内町柿原410-1
TEL：097-582-1471
FAX：097-582-1462
開設年月日：2002年4月1日
スタッフ：常勤1名(保育士)

★最も力を入れている事

緑豊かな山々と田園風景が広がり、自然豊かな地域です。子ども達の心も豊かに育つように、四季折々の自然に目を向けた活動を行っています。家庭では出来ない造形遊びはとても喜ばれています。又、近年では核家族化が進み、高齢者を始めとして、異なる世代との交流が激減しました。児童館では、地域の子どもから高齢者まで、色々な人が集まって楽しめるプログラムを用意しています。

わくわく農園作りは、近隣のお年寄りの方に手伝ってもらい、栽培しています。親子で野菜の成長を楽しみにし、収穫の喜びを味わっています。親子サークルでは、お母さま方が遊びの計画・準備・進行などを協力し合って進めています。情報交換や友達作りができ、とても生き生きと活動しています。また、家にもこもりがちな育児をしている人に、「ここに居場所があるよ」というメッセージを伝えるために、家族が住んでいる場所等にポスティングしたり、保健センターを通じて知らせる広報活動にも力を入れています。

活動	開催日	内容
ボランティアによる絵本の読み聞かせ	月1回	地域のボランティア「コスモスの会」の方による絵本の読み聞かせや手遊び・パネルシアター等を行ってくださいます。
園庭開放	随時	併設保育園の園庭で遊び、午前中は園児との交流も出来ます。
栄養満点おやつ作り	月1回	保育園の栄養士の指導で、おやつづくりをします。
おばあちゃんの知恵袋	2か月に1回	近隣のおばあちゃん達に、昔ながらの料理や伝承遊びを教えてくださいます。
わくわく農園	季節毎	園庭の一角に専用の菜園を作り、季節の野菜を栽培・収穫・料理をします。
育児相談	随時	育児相談から心理的な相談まで、あらゆる子育て過程に関する相談を受け付けます。
季節の製作	月1回	自然の物を使って造形遊び・工作などをします。
行事		クリスマス会・餅つき・運動会・節分等
バス遠足	年3回	みかん狩り・梨狩り・公園などにバスで出かけます。
あそびクラブだより	月1回発行	毎月の予定・連絡事項・活動報告などを掲載しています。
小学生との交流		午後学童保育の小学生と遊びます。

*図書室の本・ビデオの貸し出しも行っていきます。

★利用者の声

- ・子どもが先生と遊ぶ姿を見て、「こんなに遊べるんだ」「こんなに笑うんだ」と驚きました。
- ・引越してきたばかりですが、友達がたくさんできてうれしかったです。
- ・家ではできない遊びをたくさん教えてもらって良かったです。
- ・野菜づくりが楽しいです。
- ・夏はプールを楽しみに通っています。

★課題・展望

子育ての喜び・楽しみや不安・苦勞を分かち合える仲間作りの場となり、情報の交換、知識、技術の習得するさまざまな機会をより多く提供していきたいと思えます。そして、地域の方々、地域の施設との豊かな交わりを持ち、支えあいながら子ども達や地域の方々が集うことのできる児童館を目指します。



～「無理せず、ゆっくり、気軽に、楽しく」リラックスして子育てできる陽だまりのような場所～

由布市ゆふいん子育て支援センター



★課題・展望

保育園や幼稚園に通っていない、センターを利用していないお子さんや保護者の方にも、センターの存在を知っていただき、誰でも利用しやすく、「また来たい」と思っていたくれるような施設作りを心がけたいと思います。

内容も、利用者の声を取り入れながら、柔軟に対応できるよう職員も研鑽をしていきたいと思ひます。保育園と支援センターがお互いに良い刺激になり、利用者全員が笑顔で過ごせる施設を目指します。

運営：社会福祉法人すみれ会
住所：〒879-5102
大分県由布市湯布院町川上2542番地
TEL：0977-85-4666
FAX：0977-85-4667
E-mail：scjqc710@yahoo.ne.jp
開設年月日：1996年7月1日
スタッフ：常勤2名
(指導員1名・保育士1名)

活動	開催日	内容
やまびこ	毎週 火・木・金 AM9:00～ PM2:00	2、3歳児対象 クッキング、製作、読み聞かせ、戸外遊び、プール遊び、雪遊び、畑での活動など、内容は毎回変わります
ありんこ	毎週 月・水 AM9:00～ PM1:00	0、1歳児対象 読み聞かせ、製作、水遊び、戸外遊びなど、内容は毎回変わります

※ この他に、保育園の行事に参加したり、豆まき・クリスマス会など独自の会をしたりします。また、講師を招いての講演会や講座なども開催しています。

★利用者の声

- ・いつも楽しく利用させてもらっています。
- ・大人も短時間でも息抜きができて助かります。
- ・毎週のように色々な遊びを考えていただき、行くのが楽しみです。
- ・県外から来たので友達もなく心細かったのですが、ここでママ友もでき、毎週行くのが楽しみです。
- ・行事にも色々参加させてもらえるので楽しいです。
- ・子どもも親もリラックスして過ごせます。
- ・子育ての悩みも先生や、他のママ達に気軽に話せるので助かっています。

★最も力を入れている事

当センターは、社会福祉法人すみれ保育園に併設されています。湯布院のにぎやかな通りから少し離れ、田んぼに囲まれた静かな環境の中にあり、四季の自然を感じたり、その自然の中で遊ぶにはもってこの場所であると思ひます。保育園に併設ということで、園児とセンターの子どもが一緒にお弁当を食べたり、園庭で遊ぶなどの交流があり、センターにみえるお母さん方に同年齢の子どもの様子を見ていただくことができます。また、芋苗植え・花火大会・運動会・芋掘り・バス遠足・餅つき・誕生会・馬と遊ぶなど、たくさんの園の行事にも参加ができ、普段経験することのない経験もできているのではと思ひます。園外での保育もあり、年数回は牧場や文庫、山など車に乗って少し遠出もしています。また、4ヶ月児健診以外の乳幼児健診は当センターで行われ、月に1度保健師訪問日(身体測定・相談)もあります。こういったことから、保健師さんとの距離も近く、困った時には相談しやすい環境にあると思ひます。

利用しているお母さん方も、とても気さくな方が多く、新しく来られた方を暖かく受け入れてくださり、初めは緊張しているお母さんや子ども達も数回通ううちにすぐに馴染んで来ています。転勤してきて友だちがない、身近に色んなことを相談できる人がいない、自分から新しい環境に入っていく自信がない、子どものことで悩んでいる、そんなお父さんお母さん方を、利用者同士が、そして職員がサポートしていける施設でありたいと思ひます。子どもの心の基地はお父さん・お母さん、そしてそのお父さんとお母さんの心の基地にセンターがなれるよう頑張っていきます。これからも、利用者が安心して過ごせる環境設定、コーナーづくり、たくさんの遊びの提供をし、できればお父さんにも参加してもらえる内容を考え、子ども達の、そして保護者の方の仲間作りの援助ができれば、と思っています。そして、ここを卒業しても時々顔を会わせてもらえるような、ふらっと立ち寄りたくなるような施設をめざします。



～楽しい子育て仲間とワイワイ!～

宮田保育園 由布市挟間子育て支援センター



活動	開催日	内容
子育て相談	随時	子育て・家庭・職場・その他 困った事は何でも相談受けます
子育て教室	年2回	おもちゃ作りや保育園の給食試食会、遊びの提供
夏祭り	8月	保育園の保護者会のバザーやゲームを楽しみ、夏の夜の楽しい思い出づくり
餅つき大会	12月	昔ながらの餅つきを、地域の方々と一緒に 行います。出来たてお餅と豚汁の試食会
発表会	2月	保育園の子ども達のダンスやオペレッタを 親子で鑑賞
出前保育	由布市の 乳児検診日	検診対象者の親子に遊びの提供絵本の読み 聞かせ



★課題・展望

保育園の中に支援センターがあるため、親子でお子さんの年齢に応じたクラスに入り一緒に保育を体験するような機会を作りたいです。

★利用者の声

色々な催し物に参加して、子ども達だけでなく私たち親も、沢山の友だちが出来、先生方が子育ての悩みに丁寧に答えて下さり、楽しい時間を過ごしています。時々子ども同士のけんかもありますが、それも、子どもにとっては良い経験だと思ひています。

運営：社会福祉法人 産士会 宮田保育園
住所：〒879-5518 由布市挟間町北方602番地
TEL：097-583-1544
FAX：097-583-3532
E-mail：ubusuna@sweet.ocn.ne.jp
開設年月日：2000年4月1日
スタッフ：専任1名 保育園スタッフ



★最も力を入れている事

保育園の中にある子育て支援センターです。保育園の子どもと一緒に遊ぶことにより、子ども同士で遊ぶ楽しさを感じのびのび元気に過ごせます。子育て教室・夏祭り・餅つき大会・発表会は地域の方と一緒に行うことで、大切なことや解らないことを教えてもらえ、世代間交流ができています。餅つき大会のしめ縄づくりは、毎年、参加者に好評です。とにかく、ワイワイガヤガヤ楽しむことをモットーにしています。



～笑顔いっぱい！楽しさいっぱい！だれもが安らげる和みの空間～ 国東町地域子育て支援センター“さくらんぼ”



運営：社会福祉法人 南部清流福祉会 国東町南部保育園
住所：〒873-0511 国東市国東町小原119-1
TEL：0978-72-0413
FAX：0978-72-0985
開設年月日：1999年4月 スタッフ：常勤3名（保育士2名）



相談活動	「電話相談」 毎週 月～金 9:00～16:00 「面接相談」 毎週 月～金 9:00～16:00
子育て支援活動	「育児サークル活動」 毎週 月・火・金 9:00～14:00 対象 就学前児童
	「母親サークル活動」 毎週 木 9:00～14:00 ※母親グループにお部屋をお貸しします ※場所の提供
広報活動	「園庭開放」 毎週 水 9:00～14:00
	「よちよちタイム」 毎月 第2金曜日（時間はさくらんぼ便り掲載） 対象 第1子が1歳半未満の子を持つお母さん 平成19年4月1日現在が1歳半未満なら1年間通して参加できます。
広報活動	・育児に関する情報の提供 …… 毎月1回“さくらんぼ”発行 ・本の貸し出し …… 随時行っています ・出前保育 …… 公園保育・親子クッキング等（3か月に1回程度）

★課題・展望

子育てについて、いろいろな支援や提供・相談の場であるはずのセンターなのですが、最近では「してあげる」的な面が多くなってしまっているのが現状です。活動をしていても、指導員が「してくれる」・「遊んでくれる」のを待っている母親が多々見られるようになりました。母親の意欲や自主性を引き出し、よりよい支援センターにステップアップすることが理想であり、今後の課題です。



★最も力を入れている事

海と山に囲まれた自然多き国東市のほぼ中央に位置しており、国東町南部保育園の中の木のぬくもりいっぱいのホールで我が“さくらんぼ”は活動しています。室内外ともに広く親子が触れ合って遊べる場を提供しています。それとともに日々の活動も季節感があふれ、楽しく遊んだり、創作活動を行ったりと年間を通じて盛りだくさんの内容を提供するため、指導員一同取り組んでいます。また、読み聞かせやストレッチヨガ、親子エアロビクス等ボランティアの方やセンターを利用している母親による講習会も“さくらんぼ”の大きな特徴です。

さらに、市の保健センターと連携し、おたよりの発行や月1度の保健師さんによる健康講座を開催しています。それに、市内の公園や公民館を利用した出前保育や芋ほり、みかん狩りなどの活動では地域の方々たくさん触れ合える場を持つよう工夫しています。

しかし、何より大切にしていることは「笑顔」です。笑顔からは喜び、元気が生まれ、安心感となり信頼感へとつながると思います。そしてこれから楽しい子育てへとなればと日々笑顔を心がけています。



～みんな大好き～

玖珠町くるみ保育園地域子育て支援センターいちごのきもち



活動	開催日	内容
ほっとルーム	月～金 9:30～12:00 13:30～16:00	親子で室内外で自由にすごせる時間
誕生日会	毎月1回	誕生日のお友達を紹介し、お祝いをします。おやつもあります。
身体測定	毎月1回	子どもさんの身長、体重を測定します。
クッキング	毎月1回	簡単なおやつ作り、みんなで試食
育児相談	年に4回の予定	保健師、栄養士、園長を招いての子育て相談
プール遊び	夏場（7～8月）	戸外でのプール遊びが楽しめます。（温泉を利用）
巡回わらべ劇場	年に2回予定	地域のわらべサークルの方によるパネルシアターや、腹話術など
消防署見学	年に1回（9月）	消防署見学、また、救命手当等の方法を学びます。
作品制作	定期的に実施	季節にあった作品を親子で制作



運営：社会福祉法人 睦福社会
住所：〒879-4403 玖珠町帆足288-13
くるみ保育園送迎ステーション
チャイルドハウス内
TEL/FAX：0973-72-4860
E-mail：kurumi-hoikuen@sirius.ocn.ne.jp
開設年月日：2007年10月1日
スタッフ：常勤 2名
（保育士・補助員）

★最も力を入れている事

地域子育て支援センターいちごのきもちは、いつでもどこでも誰でも笑顔をもっとに、また、利用される方が気軽に、ゆっくりマイペースで過ごしてもらえるような雰囲気作りを心がけています。

アットホームな雰囲気とワンルームの環境は、子どもたちの遊ぶ姿が把握しやすく、お母さん方も子どもたちも安心して過ごせているように感じます。

保育園と隣接のため、保育園児の姿や様子が見られ、園の行事にも参加していただけます。

また、毎月の行事内容をわかりやすく、見やすく掲載した「いちご通信」を月一回発行しています。

毎月1回のクッキングには、親子で楽しみにして来られる方が多く、楽しい時間が過ごせているようです。

初めての利用者がある時は、お互い自己紹介をしてもらおうなど、お母さん同士はもちろんのこと、子どもさん同士も仲良くできる配慮しています。

帰られる際も必ず「また来て下さいね」と声かけするよう心がけています。

★課題・展望

利用者（子ども）の年齢が、0～2才が多いので、年齢に応じたおもちゃ作りを計画したり、また、施設内にも温かみのあるおもちゃを準備していきたいと思っています。

絵本のコーナーを作り、子どもが自由に絵本を選んで見ることができるようになっていきたいと思っています。

年間計画をしっかりと立て、計画性をもって毎日を過ごしていけるようにと考えています。





～自然いっぱい笑顔いっぱいあすなろランド～

日出町地域子育て支援センターあすなろランド



運営：社会福祉法人英芳福祉会大神保育園
 住所：〒879-1504 日出町大字大神282-2
 TEL：保育園 0977-72-0327
 センター 0977-28-1212
 FAX：0977 (72) 0408
 E-mail：oga-hksc@ctb.ne.jp
 開設年月日：2000年5月1日
 スタッフ：保育士3名



活動名	開催日時	内容
子育て相談	月～金 9:00～16:00	・子育てに不安や悩みなどを持っている子育て親子に対する相談、援助の実施 ・栄養相談（栄養士）
子育て広場	月～金 9:00～16:00	・月間スケジュールにそった遊びの紹介、実践 ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・子育て支援の情報収集と提供 ・乳児対象の子育て広場の開催
通信の発行	月1回	・イベント、講習会の開催など月間スケジュール ・感染症に対する注意、予防法などの子育て支援情報を掲載
子育て及び子育て支援に関する講習会等の開催	随時	・専門講師による講演会や感染症についての講習実践指導 ・栄養士による栄養指導 ・歯科衛生士による歯科講習会
出張子育て広場の開催	月1回	・町内5校区の地区公民館を重点的に出向き、集いの広場の開催、子育て相談 ・地域の子育て親子の支援を行う
地域交流	随時	・地区の伝承行事などに参加（節分など）
エアロビクス教室	月2回 第2・4金曜日 10:45～11:45	・母親の運動不足解消とリフレッシュを目的に音楽に合わせて、子どもと楽しく運動するエアロビクス教室を開催



★最も力を入れている事

子育て支援センターを利用する親子とスタッフが信頼関係を築くには、笑顔がコミュニケーションの第1歩と考え、スタッフは常に笑顔で明るい対応を行っています。

また、会話の中から子育てへの不安や悩みなどを理解し、アドバイスを行っています。訪れる方々の心が安らぎ、ホッとできる支援センターを目指しています。また、保育園を見学したり、園庭を利用することができます。保育園児と直接触れ合うことにより子どもの成長過程を知ったり、社会性や子供同士の関わり方を学ぶことができます。

支援センターでは、家庭での親子遊びに役立つよう、よみかかせの方法や絵本の選び方などを、保護者自身が学び実践できるようにしています。特に絵本や紙芝居のよみかかせは支援センターでも毎日行っており、よみかかせにより感受性を豊かにし、創造力を育てる支援を行なっています。

さらに、異年齢児との関わりや遊びなどから社会性を身に付けたり、成長した姿を保護者と共に喜び合いたいと思っています。保護者同士のつながりも大切にしており、自主的に活動をするグループに運営の援助を行ったり、遊びの紹介をしたりしています。今後も町中の子育て家庭が知り合いになれるよう援助していききたいと思います。

★課題・展望

- ・父親を対象にした子育て広場や子育て支援の講習会や研修会、父子のクッキング教室などを開催することにより、父親の子育て参加を促して行きたいです。
- ・町内に出かけて集いの広場を開催し、子育て情報の提供などを行うなど、アウトリーチの取組や子育て支援を要する家庭の発掘を行いたいと考えています。
- ・子育て支援センター利用者の先輩方との関わりを継続化し子どもの成長を追ったり、利用者の中から子育てサポーターや相談者、ボランティアの育成を計画的に行いたいと思います。
- ・休祭日の緊急支援要請に対する対応方法などについて検討したいです。

★利用者の声

- ・初めての子育てに迷うことばかりでストレスを感じる事が多かったのですが、支援センターの存在を知り緊張しながらも訪ねてみました。先生たちの温かい言葉や同じ悩みを抱えている母親仲間に出会い、孤独感もなくなり楽しんで子育てができるようになりました。
- ・子どもは予想外の行動が多く、思うよういかないこともありますが、ここは時間を気にせず利用でき、何度も助けられました。また安心できる環境で子どもをのびのびと遊ばせることができ感謝しています。保育園の園庭利用は親子共に喜んでます。たくさん遊んで満足いくと食欲も出て夜もよく寝てくれます。
- ・自治公民館に出向いてくれるので、出掛けやすいです。次回の開催がいつも待ち遠しいです。



～みんなとつながる、ほっとステーション～

日出町児童館



運営：社会福祉法人日出町社会福祉協議会
 住所：〒879-1502
 日出町大字藤原2277番地1 日出町保健福祉センター内
 TEL：0977-72-0323
 FAX：0977-72-9785
 E-mail：keiko@hiji-syakyo.jp
 URL：http://www.hiji-syakyo.jp/jidoukan/top.html
 開設年月日：2001年4月1日
 スタッフ：常勤2名 非常勤4名



(平成21年度の例)

活動	開催日	内容
親子リトミック教室	毎月第1火曜日 11:00～12:00	乳幼児の親子対象。
親子で楽しい3B体操	各月第4水曜日 11:00～12:00	1歳児以上の幼児対象。
ママとベビーの3B体操	6月24日・2月24日 11:00～12:00	0歳児対象。ベビーマッサージも含む
おやこ料理教室	8月1・21日 10:00～13:00	幼児とその保護者
大型積み木遊び	7月24日 14:00～16:00	4.5歳児親子
絵本読み聞かせ	毎週月～金曜日 11:40～11:55	わらべうた、絵本読み聞かせ
たのしい絵本読み聞かせ	毎月第3水曜日 11:15～11:45	わらべうた、大型紙芝居、パネルシアターなど
NP講座	6月5、12、19、26日 7月3、10日	全6回コース
コーチング講座	11月6日、12月15日 10:30～11:30	ゆうゆう子育て講座
検診時サポート	3歳検診	
相談業務	毎週月～金曜日 随時	子育て、家庭相談
育児サークルの支援	随時	

最も力を入れている事

子育てに頑張っているお母さん方が、少しでもリフレッシュでき、子育てに必要な情報や楽しい情報を得ることができ、子育ての仲間を作ることができる、コミュニティスペースを目指しています。

そのために、子育てコーチング講座や NP（ノーバディ・パーフェクト）講座を開催し、親子のコミュニケーションの構築に力を入れています。また地域の講師による、親子リトミック教室や3B体操、赤ちゃんマッサージの定期的開催は、親子のふれあいの時間として大切にしています。

子育ての悩みや保健相談についても、誠意をもって対応し、専門機関等との連携を密にし、相談して良かったと言っていただく努力をしています。

日々の活動の中で、最も力を入れているのが絵本の読み聞かせです。当児童館では厳選した乳幼児絵本を多数揃え、親子が自由に手にとって見る事ができるように準備しています。また、読み聞かせも毎日行っています。さらに、言葉の離乳食として「わらべうた」をお母さんたちに伝える活動もしています。「ととけこうよがあげた…」のあいさつから始まり「さよならあんころもち…」で終わるこの時間は、ほんわかとした空気が流れます。親子の愛着関係を育む大切な時間となっています。

このような活動を通して、日出町の親子が楽しく子育てができる場所、そしてたくさんの笑顔があふれる場所、それが日出町児童館です。

★課題・展望

少子化、核家族化が進行し地域社会も変化しています。その中で親は近隣に子育て仲間がいない、子どもへの対応の戸惑いといった孤独を感じやすい社会になってきています。

日出町児童館では、楽しい子育て環境をつくるという目標を掲げ、親子のふれあい遊び、育児者の仲間づくり、学びの場づくり、安心して遊べる場づくりに力を入れています。

今後は、児童館を利用できない親子や子どもにも知ってもらい、活動に参加してもらおうということが課題の一つです。そのためには保健師等と密に連携を取ることや、地域との交流活動の展開も大切だと思います。

そして、もう一つの課題としては、年々増加傾向にある発達障がい児などを持つ親子の受け入れです。

スムーズな対応ができるよう、職員のスキルアップを図り、誰でも隔たりなく過ごせる場所にしていきたいと思っています。

★利用者の声

○コーチング講座…考え方・とらえ方が変わり、子育てが気持ち的に楽になりました。安心しました。

(託児付きの講座だったので)子どもと離れたことがなかったので、子どもを預ける練習になりました。

○NP講座…6週連続した講座だったので週ごとに各々の受講者が目標を立てて子どもに向き合うことができました。

○気楽に話せるスタッフで、ちょっとした相談がしやすいです。



その他県内の拠点

日田市まえつえ 子育て支援センター

運営：社会福祉法人 日田市社会福祉協議会
まえつえ保育園

住所：〒877-0212
日田市前津江町大野2184-1

TEL：0973-53-2409

開設年月日：2005年4月1日

★週開設日…5日〔月～金〕9:00～16:00
スタッフ…常勤2名

豊後高田市子育て支援センター

運営：社会福祉法人 真玉福祉会 真玉保育園

住所：〒872-1105
豊後高田市西真玉2093
TEL：0978-53-5095

開設年月日：2001年4月1日

★週開設日…6日〔月～土〕8:00～17:00
スタッフ…常勤1名

子育てひろばさくらんぼ

運営：社会福祉法人 山香民生福祉会 東保育園

住所：〒873-0000
杵築市山香町広瀬349番地-1

TEL:0977-75-2308

設立年月日：2008年4月1日

★週開設日…5日〔月～金〕10:00～16:00
スタッフ…常勤1名、非常勤3名

豊後高田市子育て支援センター

運営：社会福祉法人 法音会 河内保育園

住所：〒879-0612
豊後高田市佐野2043

TEL:0978-24-1428

設立年月日：2003年7月1日

★週開設日…5日〔月～金〕9:00～17:00
スタッフ…常勤1名、非常勤2名

安岐保育所 地域子育て支援センターひまわり

運営：社会福祉法人 南部清流福祉会 安岐保育所

住所：〒873-0231
国東市安岐町下原1273-1

TEL：0978-67-0362

設立年月日：2001年1月19日

★週開設日…5日〔月～金〕
9:30～12:30
15:00～17:00
スタッフ…常勤2名

国東市地域子育て支援センター む・さ・し

運営：国東市 武溪保育所

住所：〒873-0405
国東市武蔵町麻田57-1すこやか館
TEL：0978-69-0432

設立年月日：2002年4月1日

★週開設日…5日〔月～金〕
・月・火・水・木・金
10:00～15:00 すこやか館(保育所前)
・火
10:00～11:30 武溪保健福祉センター
スタッフ…常勤2名(保育士)



平成21年度 地域子育て支援拠点実践事例集編集委員会委員

氏名	市町村	拠点の名称
秋吉ひとみ	由布市	由布市挟間子育て支援センター
岩瀬 龍子	別府市	別府市南部子育て支援センターわらべ
大原 聖子	豊後大野市	おおの子育て支援センター子育てひろば“ルンるん”
佐渡島留美	日田市	日田市ひのくま子育て支援センター
高橋 智美	杵築市	杵築市地域子育て支援センターどんぐり
谷川加代子	佐伯市	佐伯市弥生地域子育て支援センター
野尻 佑佳	豊後大野市	みえまち子育て支援センターやしの実ひろば
平川 恵里	臼杵市	臼杵市子育て支援センター「ウスキッズ」
藤澤 勢子	津久見市	キッズハウス ワイワイ
松本 恭子	中津市	中津市地域子育て支援センター「木もれび」
山川 眞紀	別府市	別府市西部子育て支援センターべるね
湯浅 圭子	中津市	中津市地域子育て支援センターなずな
渡部恵美子	豊後高田市	豊後高田市つどいの広場「花っこルーム」

※ 五十音順

